



ThinkSystem HS350X V3 BMC ユーザー・ガイド



マシン・タイプ: 7DE3

第 1 版 (2024 年 1 月)

© Copyright Lenovo 2024.

制限付き権利に関する通知: データまたはソフトウェアが GSA (米国一般調達局) 契約に準じて提供される場合、使用、複製、または開示は契約番号 GS-35F-05925 に規定された制限に従うものとします。

目次

目次	i	8.7 ネットワーク設定	27
第1章 概要	1	8.8 PAM 順序の設定	30
1.1 用語集	1	8.9 プラットフォーム・イベント・フィルター	30
1.2 ページの説明	1	8.10 サービス	32
第2章 WEBUI の表示およびログイン	3	8.11 SMTP 設定	32
2.1 ログイン WEBUI	3	8.12 SSL 設定	33
2.2 左側のナビゲーション・メニュー	5	8.13 ユーザーの管理	34
2.3 ヘルプ・アイコン	5	8.14 IPMI インターフェース	35
2.4 エラー・メッセージ	6	8.15 アカウント・ロックアウト・ポリシー	36
第3章 ダッシュボード	7	第9章 リモート制御	37
第4章 センサー	9	9.1 H5Viewer KVM	37
4.1 すべてのセンサーの読み取り	9	9.2 H5Viewer SOL (Serial Over LAN)	38
4.2 センサーの詳細	10	第10章 イメージ・リダイレクト	41
第5章 システム・インベントリ	13	第11章 電源制御	43
第6章 FRU (現場交換ユニット) 情報	15	第12章 保守	45
第7章 ログとレポート	17	12.1 構成のバックアップ	45
7.1 IPMI システム・イベント・ログ (SEL)	17	12.2 構成の復元	46
7.2 監査ログ	18	12.3 ファームウェア・イメージの場所	46
第8章 設定	19	12.4 ファームウェア情報	47
8.1 日付と時刻	20	12.5 ファームウェア更新	49
8.2 外部ユーザー・サービス	20	12.5.1 BMC FW の更新	49
8.3 KVM マウス設定	22	12.5.2 BIOS FW の更新	53
8.4 ログ設定	22	12.6 構成の保持と出荷時のデフォルト値の復元	56
8.5 TLS 設定	23	12.7 サーバー・データの保存	57
8.6 メディア・リダイレクト設定	24	12.8 システム管理者	59
		第13章 サインアウト	61
		付録 A. 注記	63
		商標	63

第 1 章 概要

- 1 ページの「1.1 用語集」
- 1 ページの「1.2 ページの説明」

1.1 用語集

表 1. 用語集

用語	説明
BIOS	Basic Input/Output System
BMC	IPMI アーキテクチャーの中心には、ベースボード管理コントローラー (BMC) と呼ばれるマイクロコントローラーがあります。
FRU	フィールド交換ユニット
ハード・リセット	システム内ですべてのコンポーネントを初期化し、キャッシュを無効化するリセット・イベント。
KVM	キーボード、モニター、マウス

1.2 ページの説明

ページ	サブ機能	説明
ダッシュボード	/	このページには、BMC 全体のステータスが表示されます。
センサー	/	「センサー読み取り」ページには、センサーに関連するすべての情報が表示されます。
FRU	/	このページには、BMC の FRU デバイス情報が表示されます。FRU ページには、FRU デバイスの基本情報、シャーシ情報、ボード情報、および製品情報のような情報が表示されます。
ログおよびレポート	IPMI イベント・ログ	このページには、このデバイス上のさまざまなセンサーによって発生するイベントのリストが表示されます。レコードをクリックすると、その項目の詳細が表示されます。
	監査ログ	このページには、このデバイスの監査イベントのログが表示されます (オプションが構成されている場合)。
設定	日付と時刻	このページには、タイム・ゾーン、日付と時刻、NTP の設定が表示されます。
	外部ユーザー・サービス	このページには、外部ユーザーの設定が表示されます。
	KVM マウス設定	このページには、KVM マウスの設定が表示されます。
	TLS 設定	このページには、TLS プロトコル暗号化モードの設定が表示されます。
	ログ設定	このページには、ログ設定の設定が表示されます。
	メディア・リダイレクト	このページには、メディア・リダイレクトの設定が表示されます。
	ネットワーク設定	このページには、ネットワーク設定の設定が表示されます。

ページ	サブ機能	説明
	PAM 順序	このページは、BMC へのユーザー認証用の PAM 順序を構成するために使用されます。BMC でサポートされている使用可能な PAM モジュールのリストを示しています。
	プラットフォーム・イベント・フィルター	このページには、プラットフォーム・イベント・フィルターの設定が表示されます。
	サービス	このページには、サービスに関するステータスおよびその他の基本情報が表示されます。
	SMTP 設定	このページには、SMTP 設定の設定が表示されます。
	SSL 設定	このページには、SSL 設定の設定が表示されます。
	ユーザーの管理	このページには、ユーザー管理の設定が表示されます。
	IPMI インターフェース	このページには、IPMI インターフェースの設定が表示されます。
	アカウント・ロックアウト・ポリシー	このページには、アカウント・ロックアウト・ポリシーの設定が表示されます。
リモート制御	/	このページには、H5 KVM および java SOL が表示されます。
イメージ・リダイレクト	/	このページには、リモート・イメージの設定が表示されます。
電源制御	/	このページには、電源制御の設定が表示されます。
保守	構成のバックアップ	バックアップする構成を確認し、バックアップ・ファイルをダウンロードします。
	ファームウェア・イメージの場所	ここで FW をアップロードする方法を選択できます。通常、デフォルト値を使用します。
	ファームウェア情報	このページには、アクティブな BMC イメージのビルドの日付、ビルドの時刻、ファームウェア・バージョンが表示されます。
	ファームウェア更新	このページでは、ユーザーが Web から BMC ファームウェアを更新することができます。
	構成の保持	このページには、リストア構成が完了していて、保持する必要がある構成が表示されます。
	構成の復元	このページでは、ユーザーがローカル・ホストから BMC に構成ファイルを復元することができます。
	出荷時のデフォルト値の復元	このページでは、ユーザーが出荷時のデフォルト値を復元することができます。
	サーバー・データの保存	このページは、サーバー・データをダウンロードするために使用されます。
	システム管理者	このページには、BMC の管理者ユーザーの設定が表示されます。
サインアウト	/	このページでは、ユーザーが現在のユーザーをサインアウトすることができます。

第 2 章 WEBUI の表示およびログイン

- 3 ページの「2.1 ログイン WEBUI」
- 5 ページの「2.2 左側のナビゲーション・メニュー」
- 5 ページの「2.3 ヘルプ・アイコン」
- 6 ページの「2.4 エラー・メッセージ」

2.1 ログイン WEBUI

BMC Web インターフェースにアクセスするには、以下の手順に従ってください。

1. Web ブラウザーを開きます。アドレスまたは URL 領域に、接続する BMC の IP アドレスまたはホスト名を入力します。
2. ログイン・ウィンドウでユーザー名とパスワードを入力します。Web を初めて使用する場合、ユーザー名とパスワードはシステム管理者から入手できます。次の図にログイン・ウィンドウを示します。

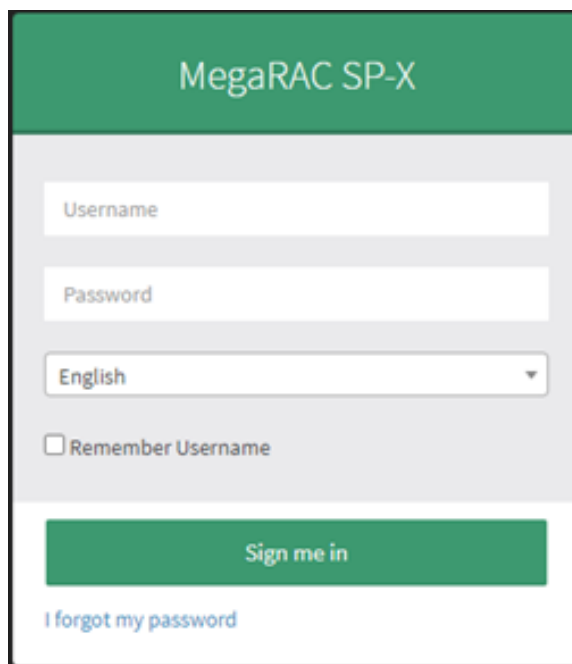
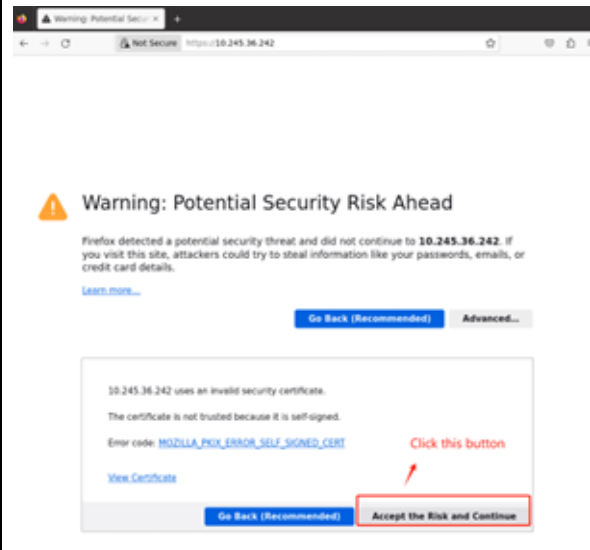
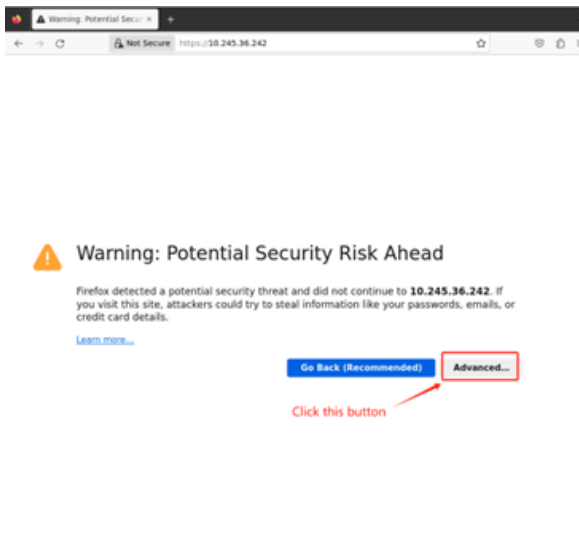


図 1. ログイン WEBUI

表 2. サポートされているブラウザ・リスト

ブラウザ	リビジョン
Chrome	119.0.6045.106 以降
Firefox	60.2.2 以降

3. 初めて BMC IP にログインすると、セキュリティー・プロンプト・ページが表示されます。「詳細」および「BMC IP に進む」を選択して続行します。



4. BMC WEBUI に初めてログインする場合、デフォルトのユーザー名とパスワードは以下のようにする必要があります。

User: admin

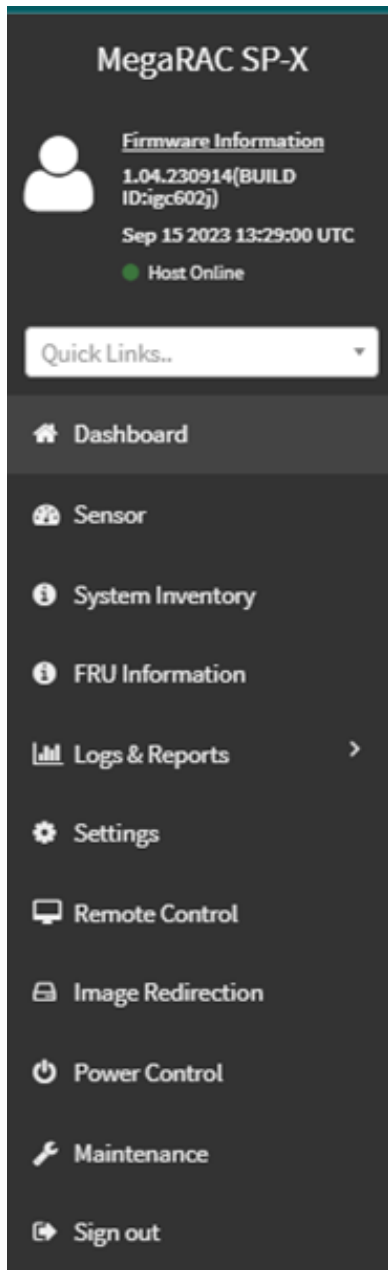
Password: admin

注意：Lenovo セキュリティー規則に従うために、ユーザーは BMC WEBUI に初めてログインするときにデフォルト・パスワードを変更する必要があります。パスワード規則は、Lenovo ISG のパスワード規則に従う必要があり、少なくとも 8 バイト (大文字および小文字の文字と数字を含む) する必要があります。

MegaRAC SP-X

Password should be changed for default user and should have a minimum of 8 characters.

2.2 左側のナビゲーション・メニュー



1. ほとんどのメニュー項目には、サブページが含まれていません。メニュー項目の上にカーソルを置くと、背景の色が表示されます。メニュー項目をクリックすると、選択したページに移動します。左側の図を参照してください。
2. 「ログおよびレポート」のページには、サブページがあります。これをクリックすると、サブメニューのリストおよびドロップダウン項目が表示されます。次の図を参照してください。

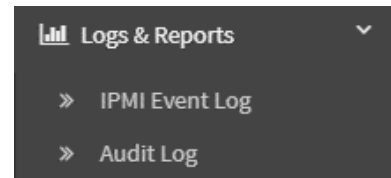


図2. ログおよびレポート

3. トップ・バーには、左から右に次の情報が表示されます: メッセージ、通知、同期ボタン、最新表示ボタン、ユーザー。次の図を参照してください。



4. ナビゲーション・バーには、現在のページの以前のパスと現在のパスが表示されます。次の図を参照してください。



2.3 ヘルプ・アイコン

ほとんどのページにはヘルプ・アイコンがあります。このアイコンをクリックすると、各項目のヘルプ情報が表示されます。次の図を参照してください。

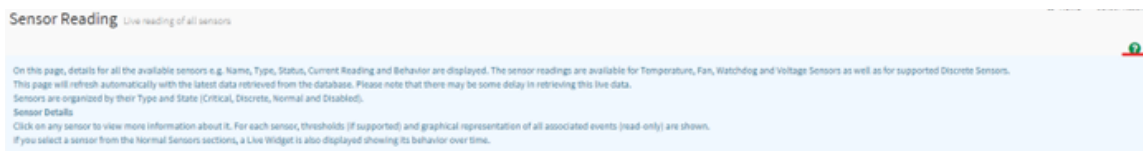


図3. ヘルプ・アイコン

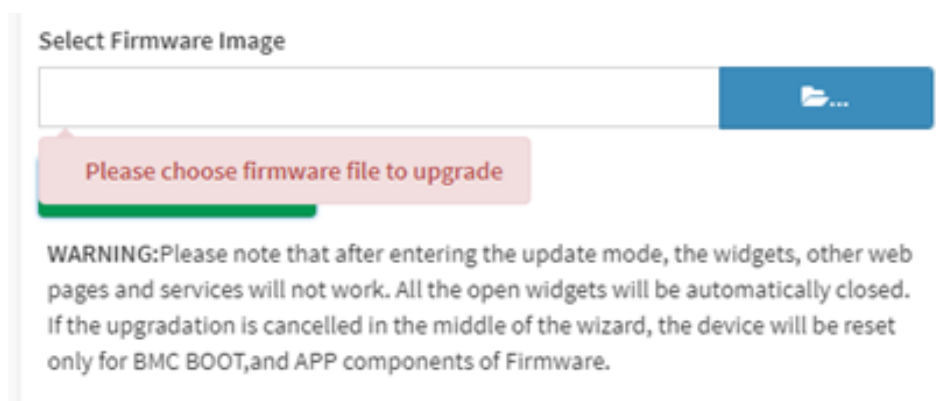
2.4 エラー・メッセージ

この機能は、ユーザー操作の失敗情報またはシステム例外情報を表示します。ほとんどの場合、エラーは以下の2つの形式で表示されます。

1. 障害に特定の理由があり、ユーザー操作が必要な場合、または障害がサーバーの状態/サービスに影響を与える場合に、モーダル・ダイアログがポップアップ表示されます。次の図を参照してください。

Image Verification unsuccessful. Please check if you uploaded the correct Image. In order to try upgrading again you need to reset the device. Press OK to reset the device now.

2. 他のエラー・メッセージおよび通知メッセージは、エラー領域の上部に表示され、ユーザー操作を妨げることはありません。次の図を参照してください。



第3章 ダッシュボード

ダッシュボード・ページは、Web にログインしたときに最初に表示されるページです。また、システム・ダッシュボード・メニューをクリックしたときにも、このページが表示されます。

ダッシュボード・ページの上段のセクションから、[18 ページの「7.2 監査ログ」](#)に移動できます。

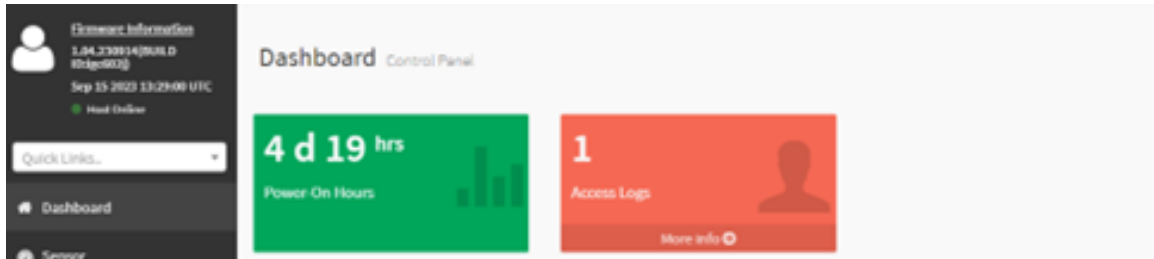


図4. ダッシュボード

第4章 センサー

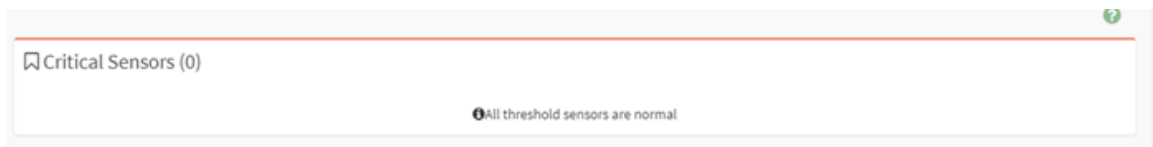
「センサー読み取り」ページには、センサーに関連するすべての情報が表示されます。

- 9 ページの「4.1 すべてのセンサーの読み取り」
- 10 ページの「4.2 センサーの詳細」

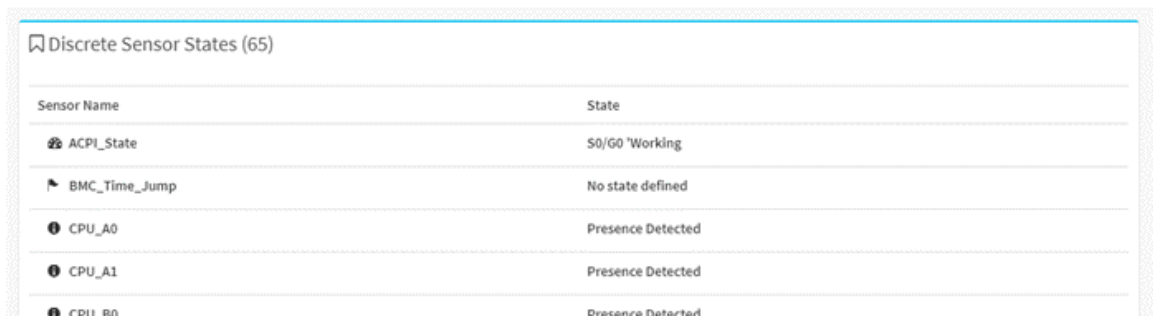
4.1 すべてのセンサーの読み取り

このページは、「クリティカル・センサー」、「別個のセンサーの状態」、「正常なセンサー」、および「無効なセンサー」から構成されます。これらのすべてのパートは、セクション・ラベルによってグループ化されたセンサー全体のステータスを示します。

クリティカル・センサーの状態は、次のようになります。



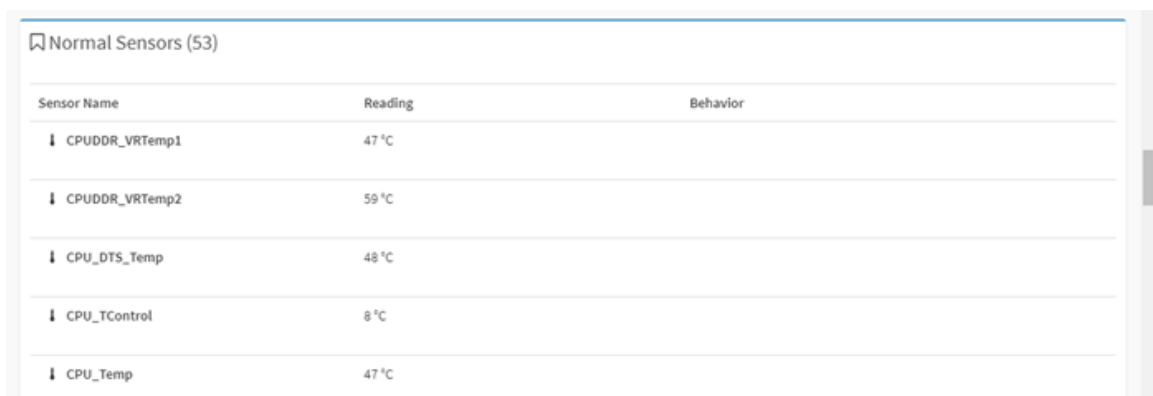
別個のセンサーの状態は、次のようになります。



The screenshot shows a section titled "Discrete Sensor States (65)". Below the title, there is a table with the following data:

Sensor Name	State
ACPI_State	S0/G0 Working
BMC_Time_Jump	No state defined
CPU_A0	Presence Detected
CPU_A1	Presence Detected
CPU_B0	Presence Detected

しきい値センサーの状態は、次のようになります。



The screenshot shows a section titled "Normal Sensors (53)". Below the title, there is a table with the following data:

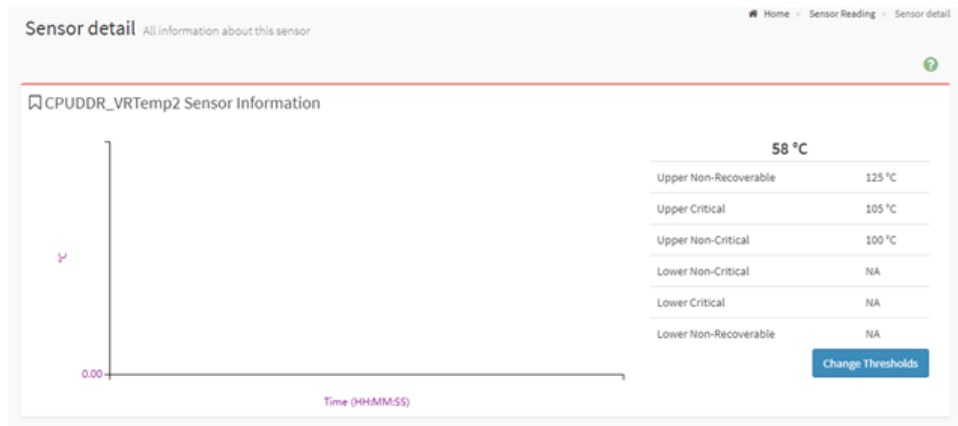
Sensor Name	Reading	Behavior
CPUDDR_VRTemp1	47 °C	
CPUDDR_VRTemp2	59 °C	
CPU_DTS_Temp	48 °C	
CPU_TControl	8 °C	
CPU_Temp	47 °C	

存在しないセンサー、または使用可能なセンサーは、次のように表示されます。



4.2 センサーの詳細

「クリティカル・センサー」または「正常なセンサー」リストから特定のセンサーを選択します。選択したセンサーのライブ・ウィジェットやしきい値などのセンサー情報が表示されます。



ユーザーは、「しきい値の変更」ボタンをクリックして、センサーしきい値を変更できます。このオプションは、リニア・センサーをサポートします。

Sensor Name
CPUDDR_VRTemp2

Upper Non-recoverable
125

Upper Critical
105

Upper Non-critical
100

Lower Non-critical
NA

Lower Critical
NA

Lower Non-recoverable
NA

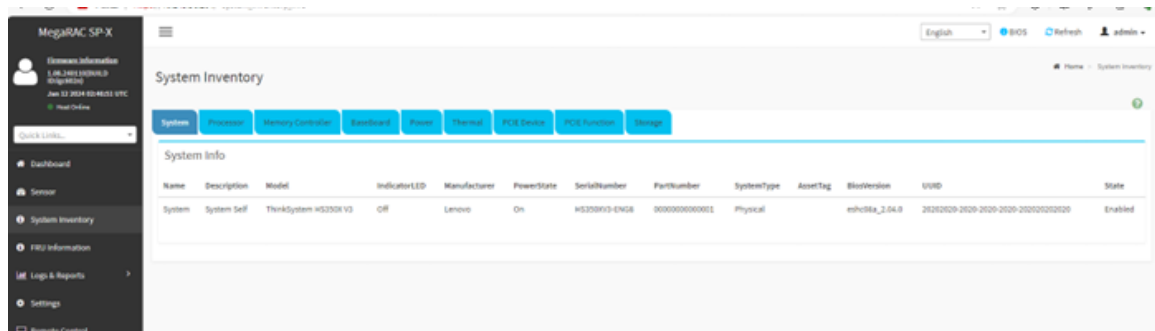
Retain Threshold Values

Save

さらに、このセンサーに関連するイベント・ログもこのページに表示されます。

第 5 章 システム・インベントリー

このページには、プラットフォームのハードウェアおよびソフトウェアの情報が表示されます。このインターフェースでマシンの現在のハードウェアを直接表示したり、現在のマシンの一部のステータス情報をカテゴリー別に表示したりすることができます。



第 6 章 FRU (現場交換ユニット) 情報

このページには、BMC の FRU デバイス情報が表示されます。FRU ページには、FRU デバイスの基本情報、シャーシ情報、ボード情報、および製品情報のような情報が表示されます。

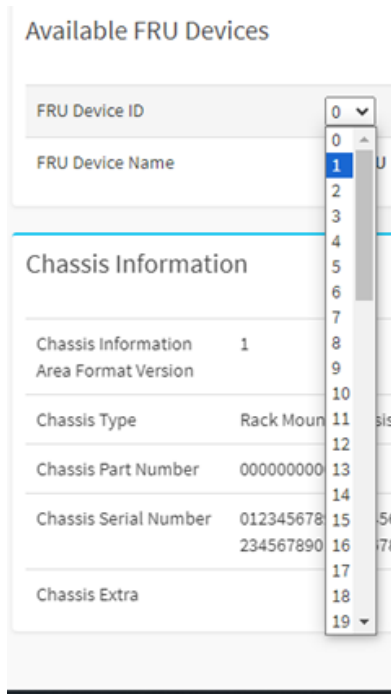
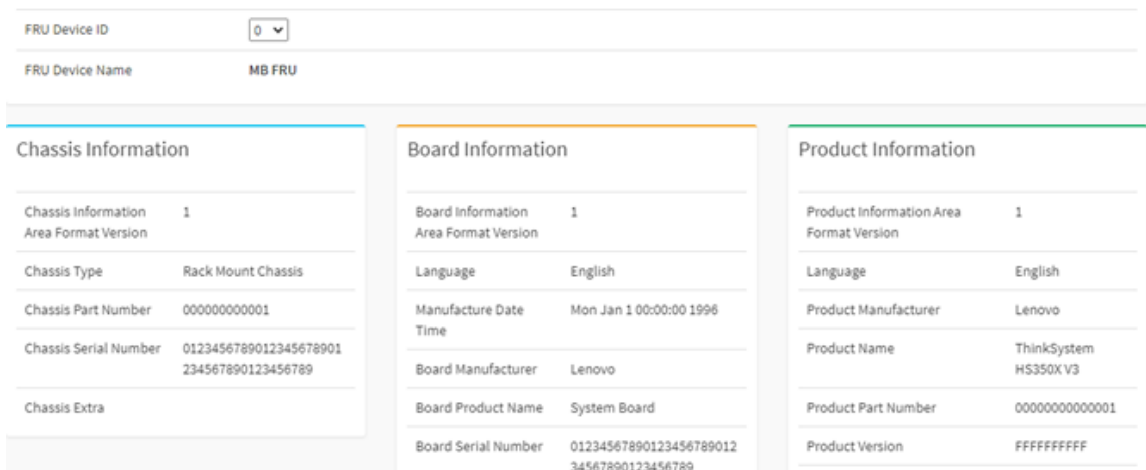


図5. 使用可能な FRU デバイス

FRU デバイス ID を使用すると、ユーザーはドロップダウン・リストから FRU デバイス ID を選択して、以下を含む選択したデバイスの詳細 FRU データを表示できます。

- マザーボード情報
- DC-SCM 情報
- バックプレーン情報
- ライザー情報
- CPU 情報
- DIMM 情報
- PCIE カード情報
- HDD 情報
- PSU 情報
- OCP 情報

詳細な FRU は、以下のように静的な製造元またはベンダー・データを示しています。



第 7 章 ログとレポート

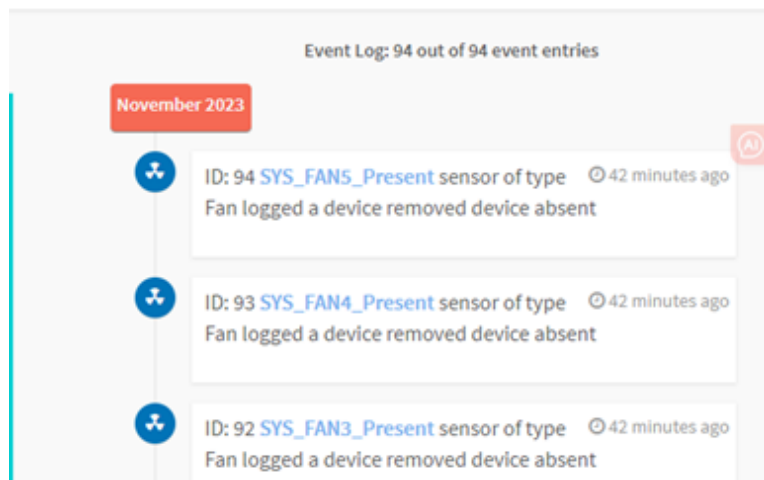
- 17 ページの「7.1 IPMI システム・イベント・ログ (SEL)」
- 18 ページの「7.2 監査ログ」

7.1 IPMI システム・イベント・ログ (SEL)

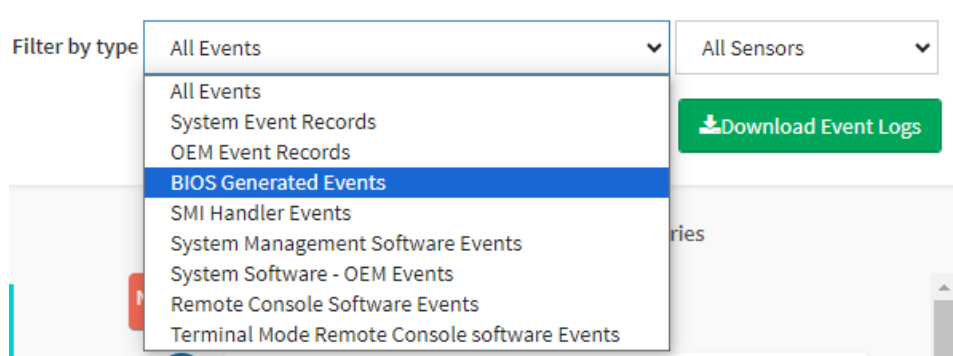
このページには、このデバイス上のさまざまなセンサーによって発生するイベントのリストが表示されます。すべてのログがコマンド・ラインと完全に一致しています。

```
ipmitool sel list
```

ログ・レコード項目は、以下のとおりです。



1. ユーザーは、現在の BMC デバイスのセンサー・タイプまたはセンサー名でイベントをフィルタリングして、すべての特定のイベントを表示できます。



2. ユーザーは、「イベント・ログのクリア」ボタンをクリックして、すべての既存のレコードを削除できます。また、「イベント・ログのダウンロード」ボタンをクリックして、すべてのイベントをテキスト・ファイル形式でダウンロードすることもできます。

Clear Event Logs

Download Event Logs

7.2 監査ログ

このページには、すべてのユーザーの操作ログ (電源オン/オフ、KVM ログイン、WEBUI ログイン、ファームウェア更新、その他の操作ログなど) が表示されます。

The screenshot shows the 'Audit Log' section with a filter by date range. The log contains three entries:

- December 2023**
 - ID: 2 December 26th 2023, 4:52:45 pm HS350XV3-ENG8 adviser: adviser -- [2751 : 2928 INFO]kvm Login from IP:10.119.174.242 user:admin -
 - ID: 1 December 26th 2023, 4:52:25 pm HS350XV3-ENG8 spx_restservice: spx_restservice -- [3766 : 3766 INFO]https Login from IP:10.119.174.242 user:admin -
- May 2018**
 - ID: 3 May 5th 2018, 6:02:00 pm HS350XV3-ENG8 spx_restservice: spx_restservice -- [3766 : 3766 INFO]https Login from IP:10.119.178.241 user:admin -

また、ユーザーは、日付を選択して、すべての監査ログをフィルタリングできます。

The screenshot shows the 'Filter by Date' section with a date range of '11/07/2023 11:42 AM' to '11/07/2023 11:42 AM'. A calendar dropdown is open, showing the month of November 2023. The date '7' is selected. The calendar shows the following days:

Su	Mo	Tu	We	Th	Fr	Sa
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	1	2
3	4	5	6	7	8	9

第 8 章 設定

このページには、以下のような、BMC のすべての構成が含まれます。

- 日付と時刻
- 外部ユーザー・サービス
- KVM マウス設定
- ログ設定
- TLS 設定
- SSL 設定
- メディア・リダイレクト設定
- ネットワーク設定
- PAM 順序の設定
- プラットフォーム・イベント・フィルター
- サービス
- SMTP 設定
- ユーザーの管理
- IPMI インターフェース
- アカウント・ロックアウト・ポリシー

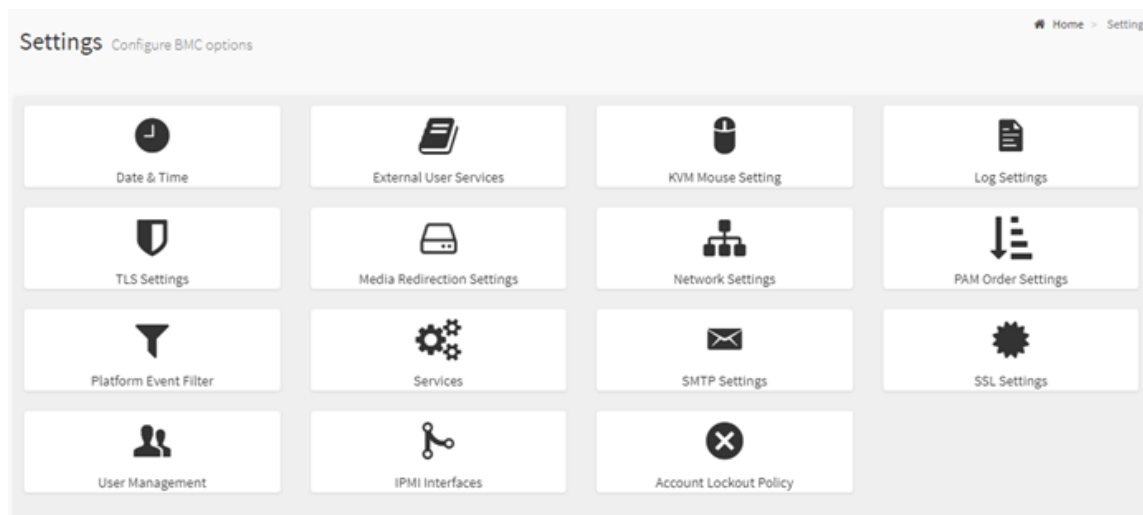


図 6. 設定

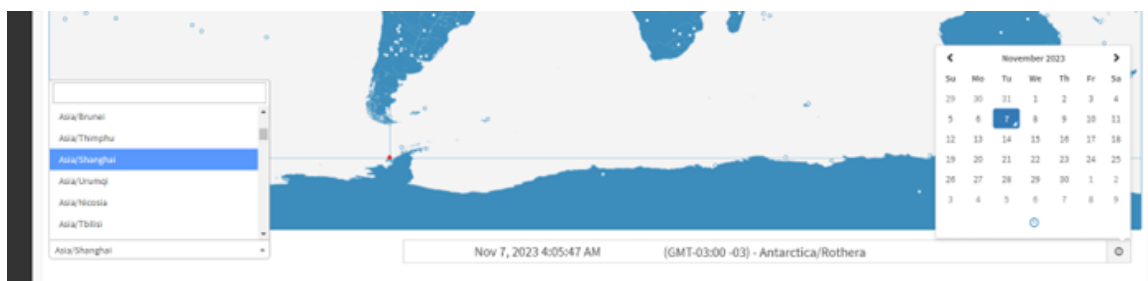
- 20 ページの「[8.1 日付と時刻](#)」
- 20 ページの「[8.2 外部ユーザー・サービス](#)」
- 22 ページの「[8.3 KVM マウス設定](#)」
- 22 ページの「[8.4 ログ設定](#)」
- 23 ページの「[8.5 TLS 設定](#)」
- 24 ページの「[8.6 メディア・リダイレクト設定](#)」
- 27 ページの「[8.7 ネットワーク設定](#)」
- 30 ページの「[8.8 PAM 順序の設定](#)」
- 30 ページの「[8.9 プラットフォーム・イベント・フィルター](#)」
- 32 ページの「[8.10 サービス](#)」

- 32 ページの「8.11 SMTP 設定」
- 33 ページの「8.12 SSL 設定」
- 34 ページの「8.13 ユーザーの管理」
- 35 ページの「8.14 IPMI インターフェース」
- 36 ページの「8.15 アカウント・ロックアウト・ポリシー」

8.1 日付と時刻

1. データ構成

ドロップダウン・メニューまたはマップを使用してタイム・ゾーンを選択します。BMC の日付と時刻を設定します。



2. 時刻の自動構成

BMC は、時刻の自動構成をサポートしています。NTP と PTP の 2 つの方法で時刻を設定できます。

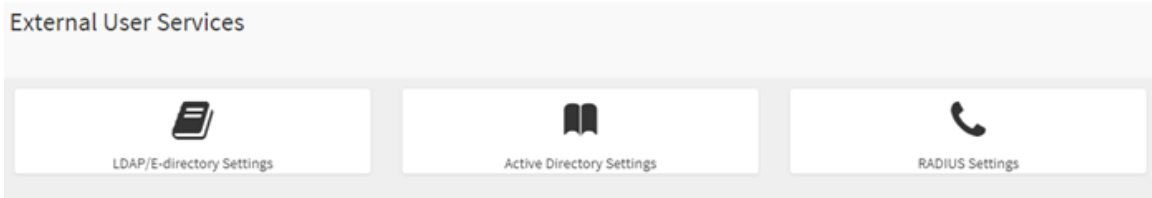


PTP 設定の構成は、以下のとおりです。

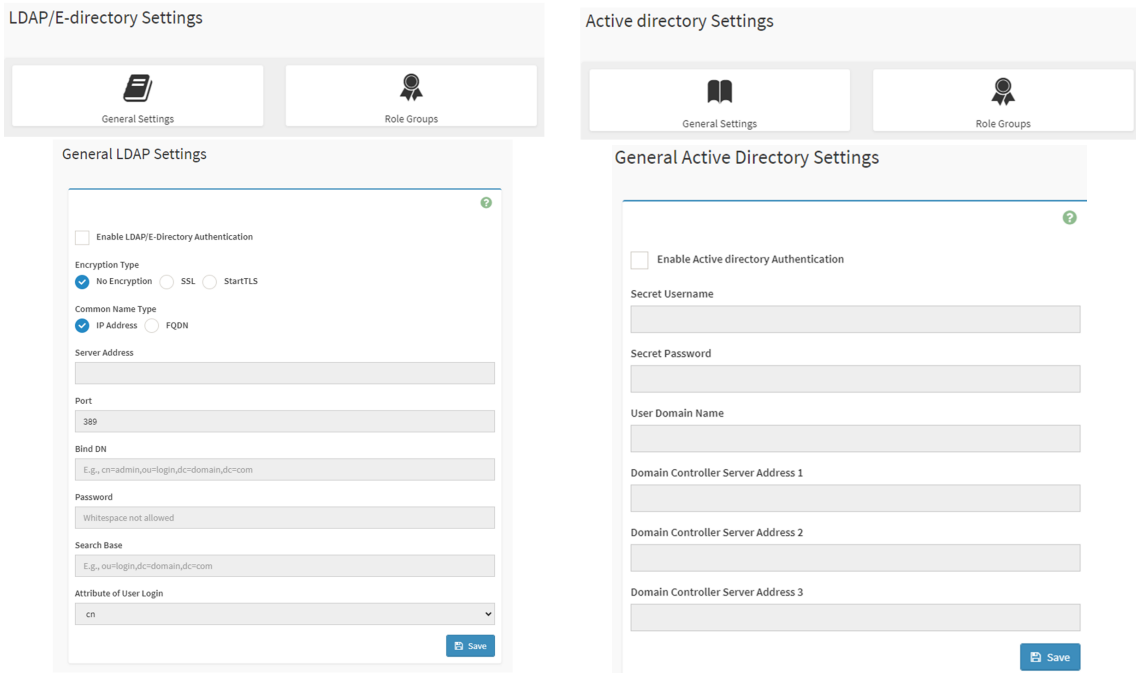


8.2 外部ユーザー・サービス

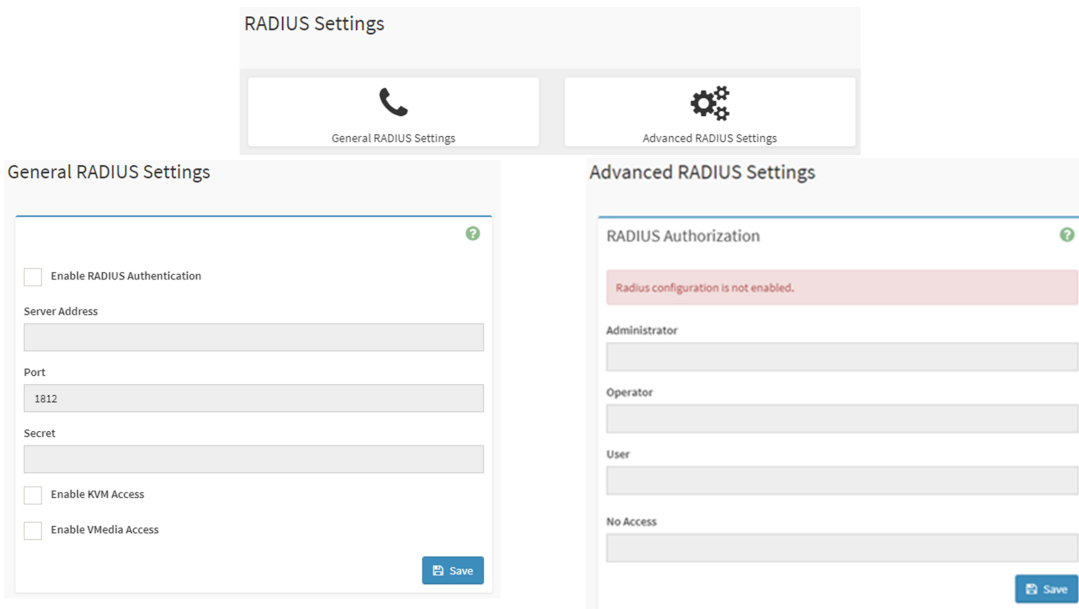
BMC は、LDAP/E ディレクトリー、Active Directory、RADIUS などのユーザー構成サービスを設定できます。



ユーザーは、一般的な LDAP 構成を設定して、Active Directory を確認することができます。



BMC は、ユーザーのシナリオに基づいて RADIUS もサポートしています。



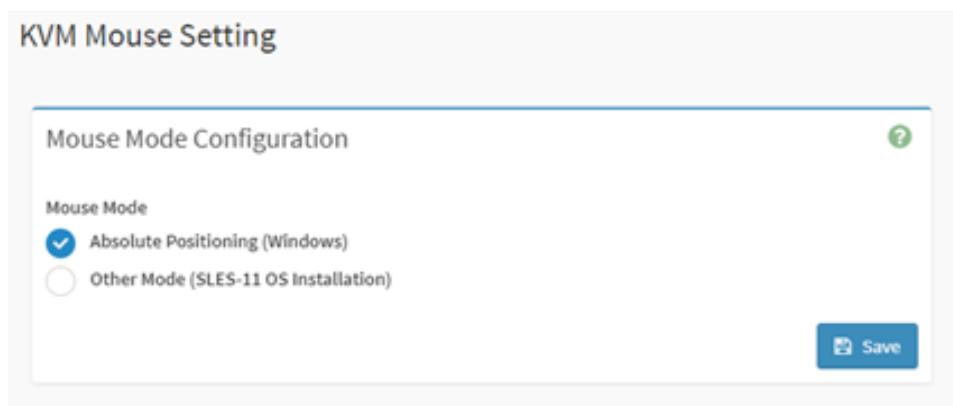
8.3 KVM マウス設定

リダイレクト・コンソールは、2つの方法のいずれかを使用して、ローカル・ウィンドウからリモート画面へのマウスのエミュレーションを監督します。「管理者」は、このオプションのみ構成できます。

- 絶対マウス・モード
- その他のマウス・モード

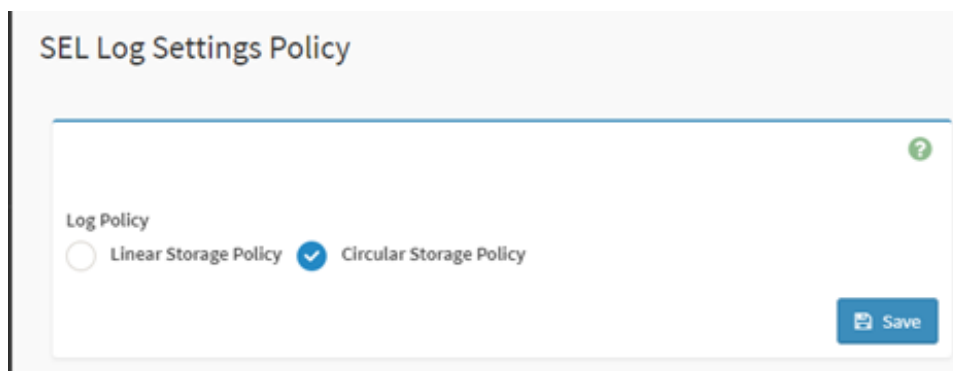
「絶対マウス・モード」は、ローカル・マウスの絶対位置をサーバーに送信します。このモードを選択するには、「モードを絶対に設定」オプションを選択します。Windows または最近の Linux リリースで推奨されます。

ユーザーがその他のモードを選択すると、KVM 画面に入った後で、マウス・カーソルはサーバーのデフォルト・カーソルに変わります。KVM 画面範囲を終了した後で、現在のホストのデフォルトのカーソル状態に復元します。



8.4 ログ設定

このフィールドは、イベント・ログのログ・ポリシーを構成するために使用されます。



すべてのシステム・イベントを表示するには、「システム・ログを有効にする」を選択します。項目は、分類レベルに基づいてフィルタリングできます。

Advanced Log Settings

System Log

Local Log

Remote Log

Port Type
 UDP TCP

File Size

Rotate Count

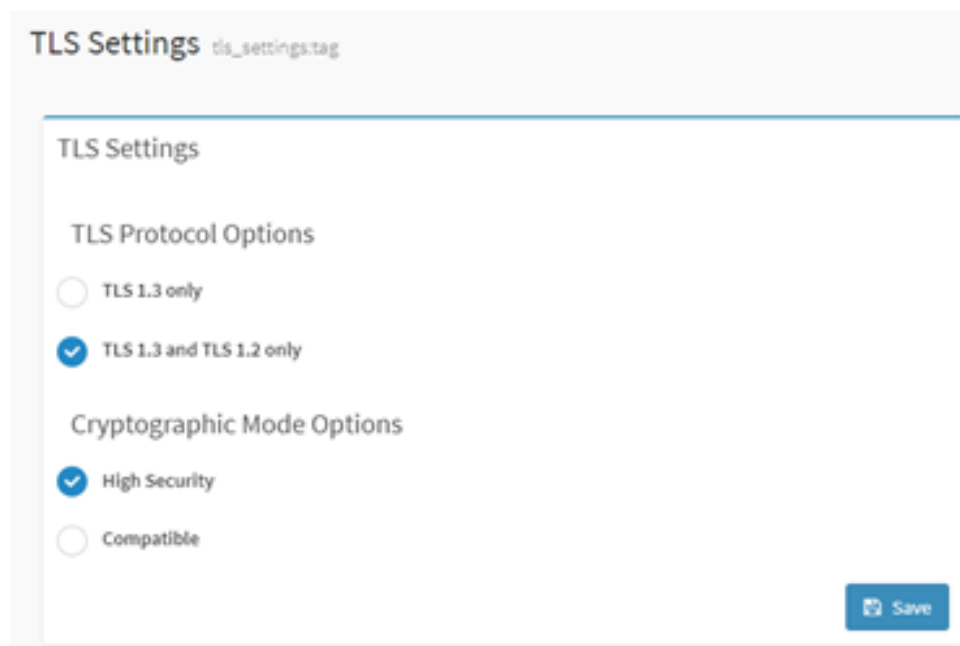
Remote Log Server

Remote Server Port

Enable Audit Log

8.5 TLS 設定

このページは、TLS プロトコル暗号化モード設定用です。ユーザーは、要件に従って構成できます。



8.6 メディア・リダイレクト設定

1. リモート・メディアのサポートを有効または無効にするには、チェック・ボックスをオンまたはオフにします。オンにした場合は、以下のリモート・メディア・タイプが表示されます。

- CD/DVD
- フロッピー
- ハードディスク

個々のメディア・タイプを選択すると、それぞれの構成が表示されます。ユーザーは、リモート・メディア・タイプごとに異なる設定を構成できます。

General Settings

Click here to go to [LocalMedia](#) or [Remote Media](#).

NOTE:

- When the multiple image redirection feature is enabled, the mount CD/DVD and Harddisk checkbox will be enabled only on the success of the mount status of CD/DVD and Harddisk.
- When the multiple image redirection features are disabled, the mount CD/DVD and Harddisk checkbox will be enabled only when the user starts media redirection successfully.
- When the Local Media or Remote Media License is expired, the Local Media or Remote Media checkbox will be in disabled state.

Local Media Support

Remote Media Support

Mount CD/DVD

Server Address for CD/DVD Images

Server IP or Host name

Path in server

eg. /opt/bmc/nfs

Share Type for CD/DVD

nfs cifs encrypted nfs

Same settings for Harddisk Images

Mount Harddisk

Server Address for Harddisk Images

2. 仮想メディア・リダイレクトに使用するフロッピー CD/DVD およびハードディスク・デバイスの数を選択します。

VMedia Instance Settings

?

CD/DVD device instances

0

Hard disk instances

0

Remote KVM CD/DVD device instances

0

Remote KVM Hard disk instances

0

Power Save Mode

Save

3. H5Viewer を使用している場合、BMC で単一ポート・アプリケーションのサポートを有効にするには、このオプションをオンにします。

Remote Session

?

Click here to go to [Remote Control](#).

KVM Single Port Application

Keyboard Language

Auto Detect (AD)

Retry Count

3

Retry Time Interval(Seconds)

10

Server Monitor OFF Feature Status

Automatically OFF Server Monitor, When KVM Launches

Save

8.7 ネットワーク設定

このページでは、ユーザーがすべての LAN インターフェース構成を確認および設定できます。

1. BMC IP および設定を確認します。ユーザーはここですべての BMC ネットワーク情報 (IP アドレス、IPv4 または IPv6 の有効化、DHCP または静的 IP、VLAN など) を設定できます。

Network IP Settings

Enable LAN

LAN Interface
eth0

MAC Address
90:2E:16:05:A7:F1

Enable IPv4

Enable IPv4 DHCP

IPv4 Address
10.245.36.107

IPv4 Subnet
255.255.255.0

IPv4 Gateway
10.245.36.1

Enable IPv6

Enable IPv6 DHCP

IPv6 Index
0

2. ネットワーク・バインド構成を選択します。ユーザーはここで専用管理 LAN および OCP NIC 共有 LAN の両方でモードを設定できます。

Network Bond Configuration

Enable Bonding

Auto Configuration

Bond Interface

eth0

Bond Mode

active-backup

Save

3. リンク速度および二重モードを構成するリストからネットワーク・インターフェースを選択します。

Network Link Configuration

Auto Negotiation

Link Speed

1000 Mbps

Duplex Mode

FULL Duplex

NCSI Interface

Disabled

Save

4. すべての DNS サービスおよびマルチキャスト DNS を有効にするには、このボックスをオンにします。

DNS Configuration

DNS Enabled
 mDNS Enabled

Host Name Setting
 Automatic Manual

Host Name
HS350XV3-ENG8

BMC Registration Settings

BMC Interface:
eth0

Register BMC

Registration method:
 Nsupdate DHCP Client FQDN Hostname

BMC Interface:
eth1

Register BMC

Registration method:
 Nsupdate DHCP Client FQDN Hostname

5. NCSI モードを「自動フェイルオーバー・モード」または「手動スイッチ・モード」に変更するには、このラジオ・ボタンを選択します。

Sideband Interface (NC-SI)

NCSI Mode
 Auto Failover Mode Manual Switch Mode

NCSI Interface
 eth1

Package ID
 0 (active)

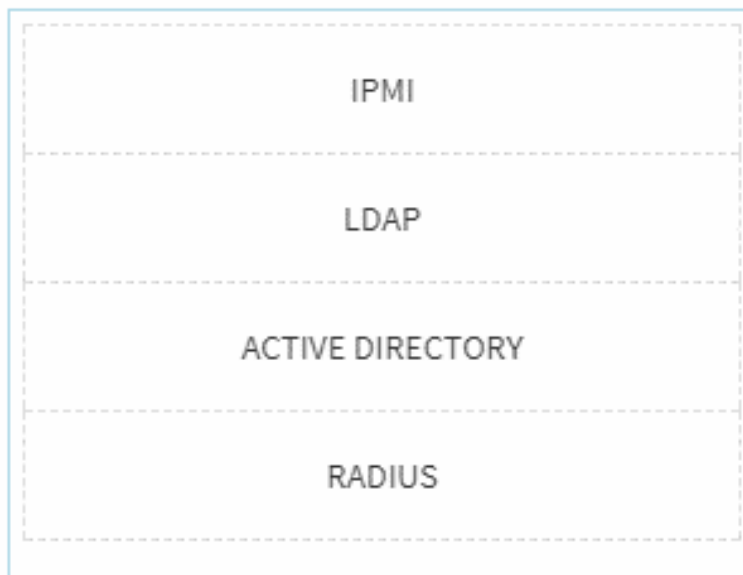
Channel Number
 0 (package 0)(active)

Save

8.8 PAM 順序の設定

このページは、BMC へのユーザー認証用の PAM 順序を構成するために使用されます。BMC でサポートされている使用可能な PAM モジュールのリストを示しています。必要な PAM モジュールをクリックしてドラッグし、順序を変更します。

PAM Authentication Order



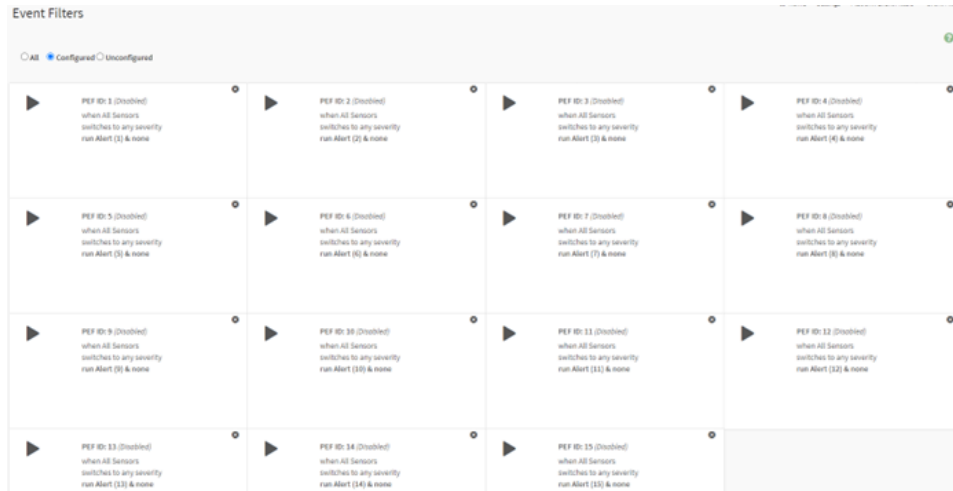
8.9 プラットフォーム・イベント・フィルター

BMC は、IPMI プラットフォーム・イベント・フィルター (PEF) 機能をサポートします。この機能は、一部のイベントが発生した場合、またはイベント・ログ (SEL) を受信した場合 (電源アクション、SNMP トラップ (PET) またはその他のアクションなど) にアクション・ポリシーを設定できます。

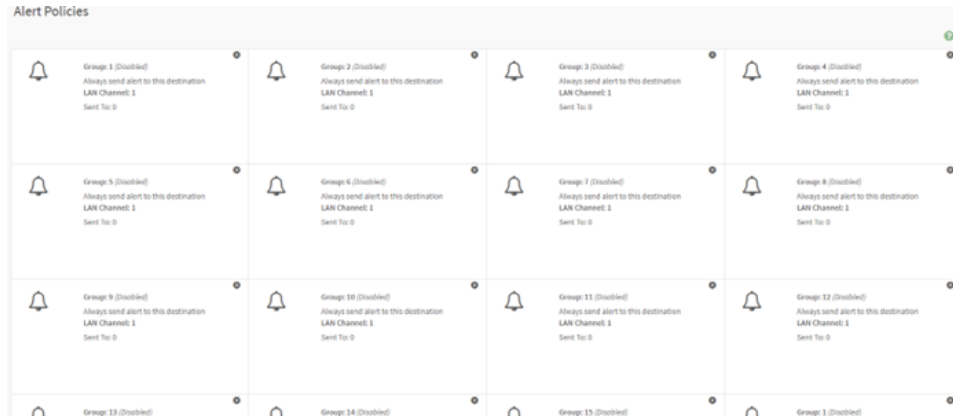
Platform Event Filters



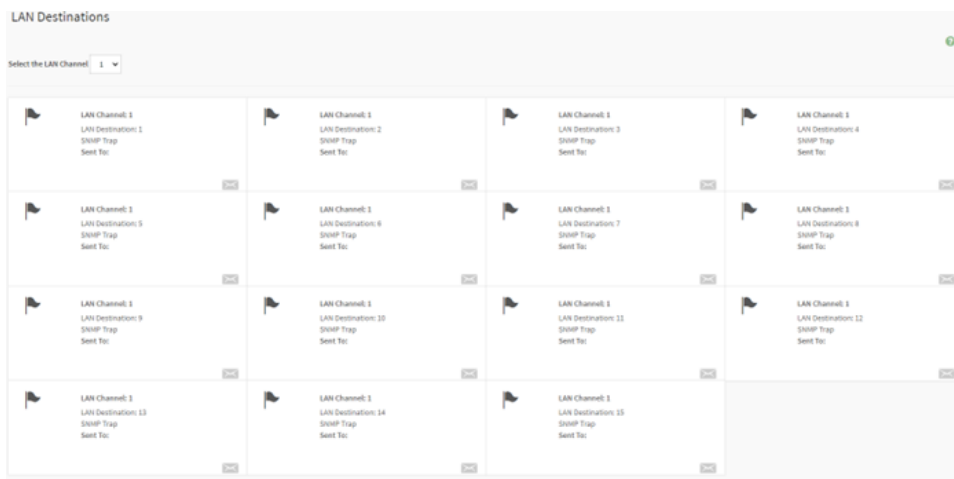
1. 構成済みのすべてのイベント・フィルターと使用可能なスロットを示しています。ここから新しいイベント・フィルター項目を変更または追加できます。ユーザーがこのインターフェースで使用できるタブが 15 個あります。



2. 構成済みのすべてのアラート・ポリシーと使用可能なスロットを示しています。ここから新しいアラート・ポリシー項目を変更または追加できます。最大 60 個のスロットを使用できます。



3. 構成済みのすべての LAN 宛先および使用可能なスロットを示しています。ここから新しい LAN 宛先項目を変更または追加できます。最大 15 個のスロットを使用できます。



8.10 サービス

以下は、BMC で実行されているサービスのリストです。ステータス、およびサービスに関する他の基本情報を示しています。サービスを変更するには、ユーザーが管理者である必要があります。

Service	Status	Interfaces	Secure Port	Timeout	Maximum Sessions	
web	Active	both	443	1800	20	[edit] [enable]
kvm	Active	both	443	1800	4	[edit] [enable]
cd-media	Active	both	443	N/A	0	[edit] [enable]
hd-media	Active	both	443	N/A	0	[edit] [enable]
ssh	Active	NA	22	600	5	[edit] [enable]

8.11 SMTP 設定

BMC は、イベントの発生時にメールを送信できる SMTP をサポートしています。ユーザーは、このページで SMTP を有効にして、SMTP 構成を設定できます。

SMTP Settings

?

LAN Interface

eth0

Sender Email ID

Primary SMTP Support

Primary Server Name

Primary Server IP

Primary SMTP port

25

Primary Secure SMTP port

465

Primary SMTP Authentication


Primary Username


Primary Password


8.12 SSL 設定

1. SSL 証明書の表示: アップロードされた SSL 証明書に関する基本情報が表示されます。以下のフィールドが表示されます。
2. SSL 証明書の生成: 証明書の生成対象となる共通名、組織名、組織セクション・ユニット、および市区町村または地域。
3. SSL 証明書のアップロード: このページでは、ユーザーが新しい証明書をアップロードおよび変更できます。また、アップロードされた日付/時刻も表示されます。

SSL Settings


View SSL certificate


Generate SSL certificate


Upload SSL certificate

View SSL Certificate

Current Certificate Information

Certificate Version
3

Serial Number
2F207A612C8FA0C722F8633108D11974944C2EA6

Signature Algorithm
sha256WithRSAEncryption

Public Key
(2048 bit)

Issuer Common Name (CN)
HS350X V3

Issuer Organization (O)
Lenovo

Issuer Organization Unit (OU)
Service Processors

Issuer City or Locality (L)
Morrisville

Issuer State or Province (ST)
North Carolina

Issuer Country (C)

Generate SSL Certificate

Common Name (CN)

Organization (O)

Organization Unit (OU)

City or Locality (L)

State or Province (ST)

Country (C)

Email Address

Valid for
in days

Key Length
2048 bits

Upload SSL Certificate

Current Certificate
Sat Jan 1 00:00:24 2022

New Certificate

Current Private Key
Sat Jan 1 00:00:23 2022

New Private Key

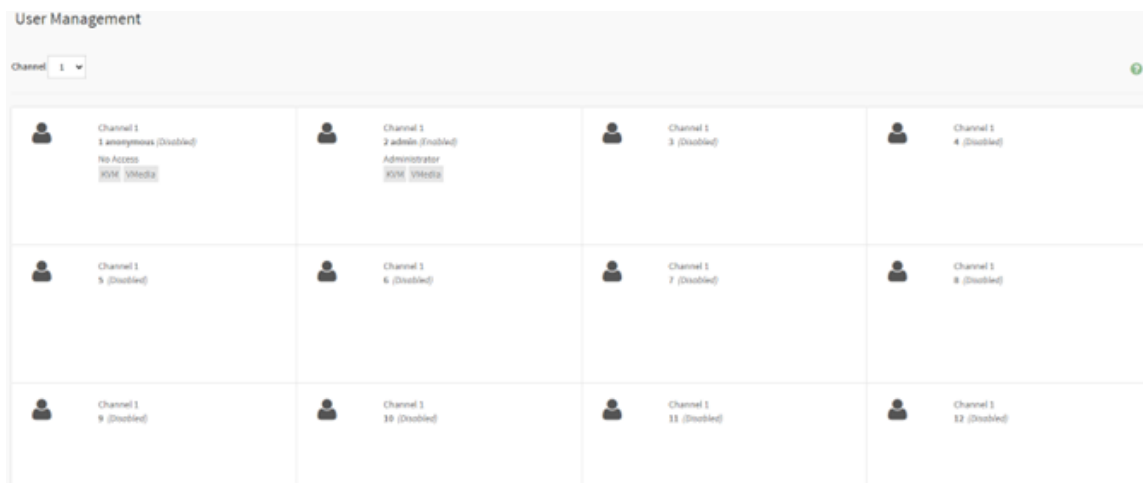
Trusted CA Support

Current trusted CA certificate
Sat Jan 1 00:00:24 2022

Trusted CA Certificates

8.13 ユーザーの管理

現在の BMC のすべてのユーザーおよびユーザー特権を示しています。



クリックしてユーザーのログイン画面を表示すると、パスワード、アクセス・チャンネル、特権、その他のアクセス権限など、すべてのユーザー構成を変更できます。

注：ユーザーがパスワードを変更する場合は、セキュリティの都合上、強力なパスワード規則に従う必要があります。

Enter the name of the new user.

- Name must be a string of 1 to 16 alpha-numeric characters.
- It must start with an alphabetical character.
- It is case-sensitive.
- Special characters '-' (hyphen), '_' (underscore), '@' (at sign) are allowed.

Username

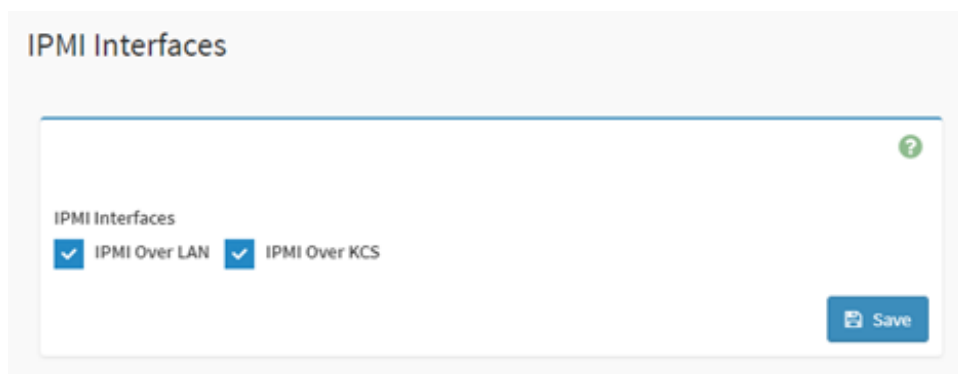
Logged-In Password field is mandatory for modifying user information and should have a minimum of 8 characters.

Logged-In Password

8.14 IPMI インターフェース

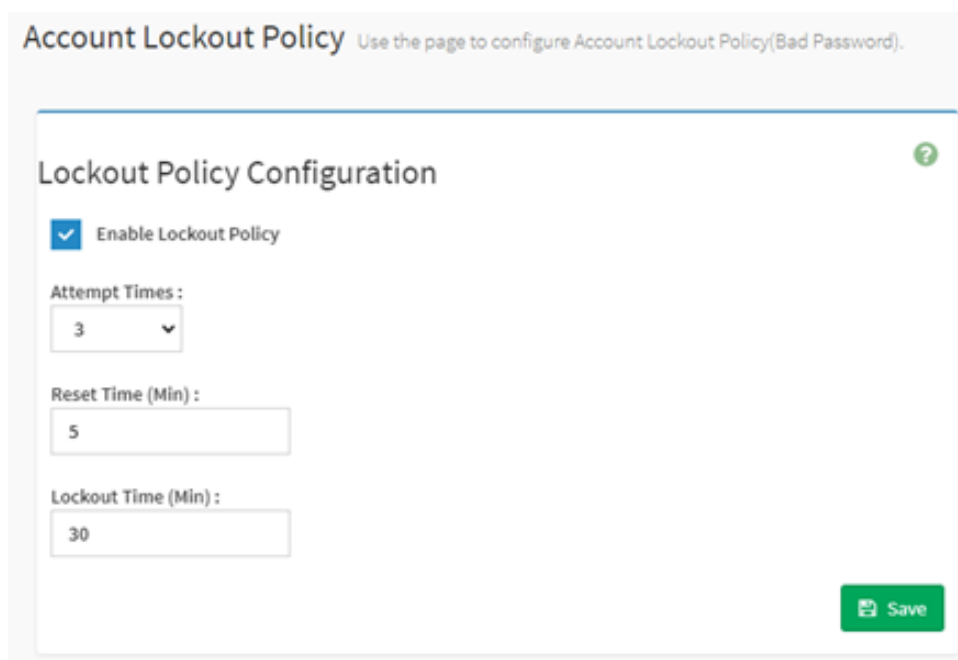
IPMI 使用設定モード。

IPMI over LAN 機能は、セキュリティー・ポリシーのために工場出荷時にデフォルトで無効になっています。ユーザーは OEM IPMI コマンドによって有効にすることができます。



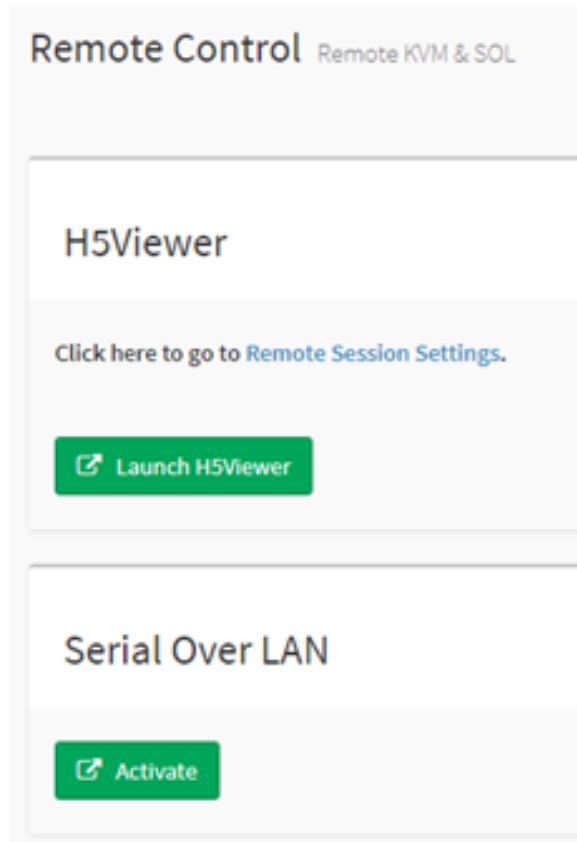
8.15 アカウント・ロックアウト・ポリシー

このページは、セキュリティ上の理由から、ユーザー・ステータスをロックまたはロック解除するためのものです。このページを使用して、アカウント・ロックアウト・ポリシー(無効なパスワードを入力した場合)を構成します。



第 9 章 リモート制御

BMC は、LAN インターフェースによるリモート制御をサポートしています。リモート制御には、KVM および SOL が含まれます。



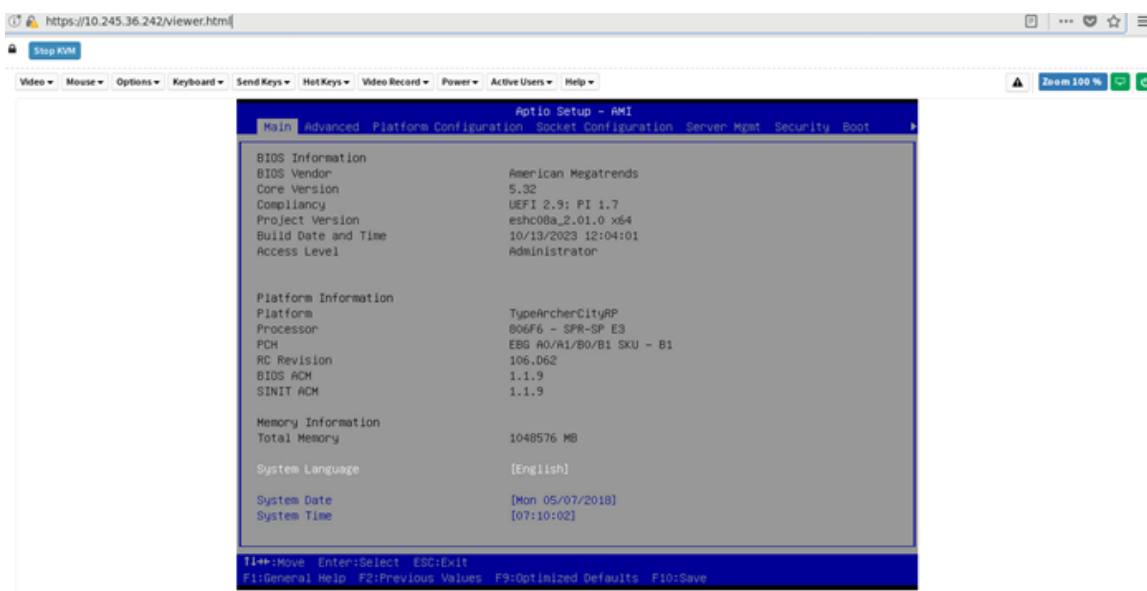
- [37 ページの「9.1 H5Viewer KVM」](#)
- [38 ページの「9.2 H5Viewer SOL \(Serial Over LAN\)」](#)

9.1 H5Viewer KVM

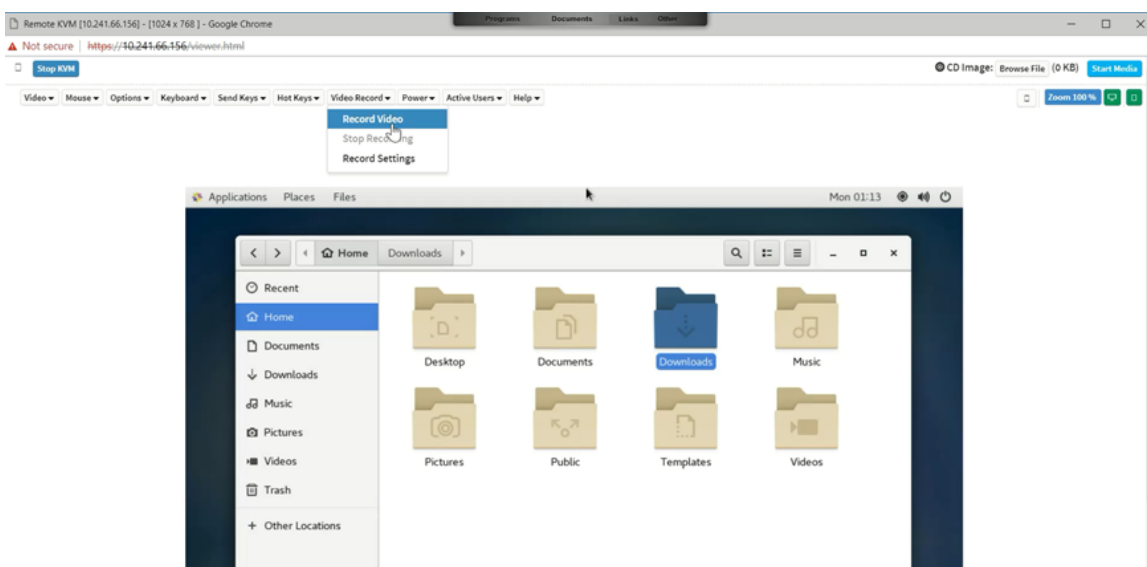
「KVM の起動」ボタンをクリックして、html5 KVM を開始します。KVM では、次のような一部の操作を実行できます。

- モニターの開始および停止。
- マウスおよびキーボードの設定の変更。
- ホット・キーの送信および設定。
- モニターの記録。
- 電源制御。
- アクティブ・ユーザーの確認。
- 仮想メディアのマウントおよびアンマウント。

KVM の開始:



モニターの録画:



注：サーバー OS の解像度を大きくすると、データ・トラフィックの帯域幅と CPU 処理時間を増やす必要がありますが、モニターを録画する場合は、「モニター・ドロップ・フレーム」を避けるために、解像度を 1024x768 未満にすることをお勧めします。

9.2 H5Viewer SOL (Serial Over LAN)

ユーザーは、Serial Over LAN を起動して、WEBUI からリモートでシステムをデバッグできます。

SOL 起動:

Deactivate	Columns	80	Rows	25
------------	---------	----	------	----

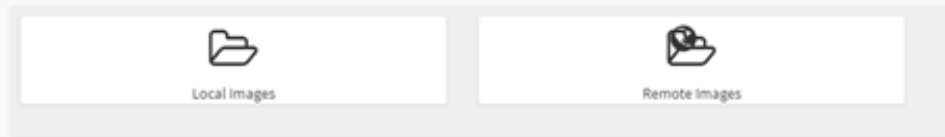
```
Variable MTRR[00]: Base=00000000FE800006 Mask=00003FFFFFFE00800
Variable MTRR[01]: Base=00000000FFC00005 Mask=00003FFFFFFC00800
Variable MTRR[02]: Base=00000000FFB80005 Mask=00003FFFFFF80800
Variable MTRR[03]: Base=00000000FFA50005 Mask=00003FFFFFF0800

Memory Ranges:
=====
UC:0000000000000000-00000000FE7FFFFF
WB:00000000FE800000-00000000FE9FFFFF
UC:00000000FEA00000-00000000FFA4FFFF
WP:00000000FFA50000-00000000FFA5FFFF
UC:00000000FFA60000-00000000FFB7FFFF
WP:00000000FFB80000-00000000FFFFFFF
UC:0000000100000000-00003FFFFFFF
Processor supports Boot Guard.
FitEntryPoint = FFA51100
KmStructureSize = 365
BpmStructureSize = 489
[BootGuardPei.c] : ACM_TPMSuccess : EFI_UNSUPPORTED

System Information:
Platform Name: TypeArcherCityRP, AMI Core: 5.31, Intel RC: 370.P03
BIOS Version: eshc02o-1.04.0, Build Date: "10/16/2023"
0x31 : Memory Initialization Complete
```


第 10 章 イメージ・リダイレクト

Image Redirection

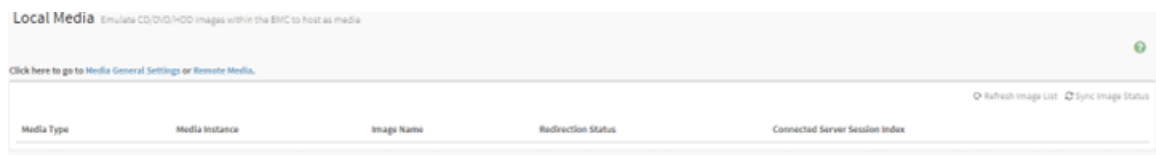


1. ローカル・イメージ:

BMC は、メディアとしてホストするために BMC 内の CD/DVD/HDD イメージをエミュレートすることをサポートしています。この機能は、BMC 内部メディアを使用してメディアを保管します。

この機能を有効にする場合は、SPI フラッシュなどの BMC 自身のストア・スペースを使用する必要があります。空きスペースがメディアを復元するのに十分であるかどうかを確認してください。

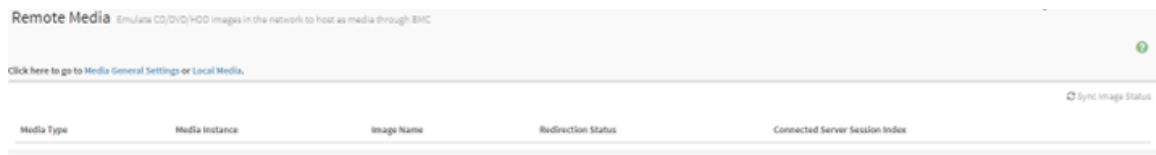
BMC に保存されている使用可能なすべてのイメージをここに示します。



2. リモート・イメージ:

BMC は、CD/DVD/HDD イメージをリモート・ホストからメディア BMC LAN インターフェースとしてマウントすることをサポートしています。詳しくは、24 ページの「8.6 メディア・リダイレクト設定」を参照してください。

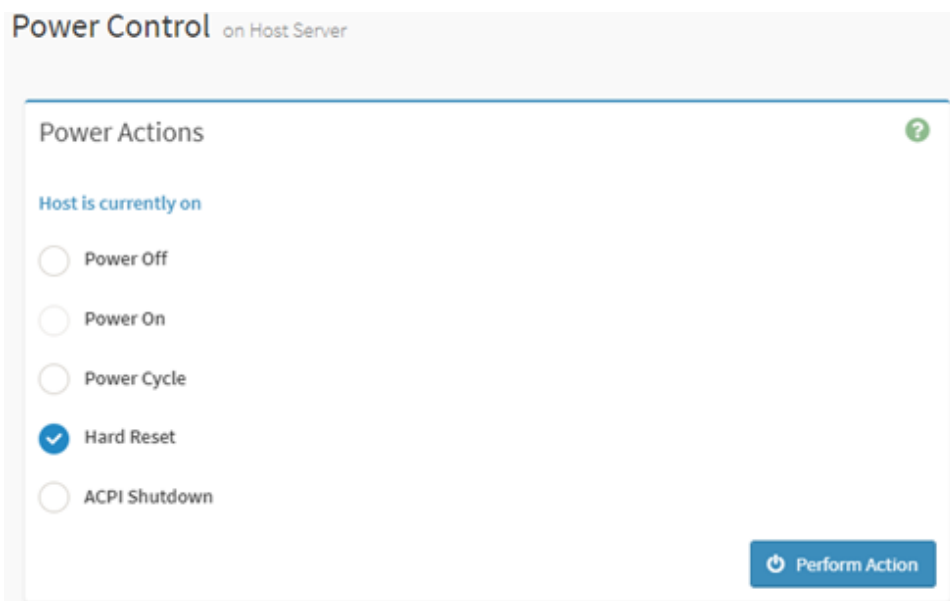
ここでは、リモート・ホストからの使用可能なすべてのイメージを示します。



第 11 章 電源制御

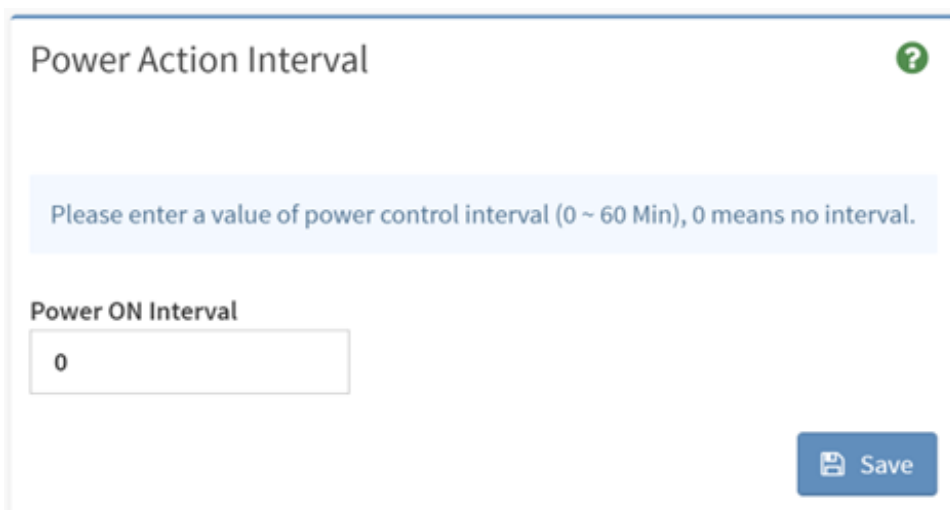
このページでは、現在のホスト電源のステータスを示しています。また、ユーザーは、このページでホスト電源を制御できます。

- 電源オフ。
- 電源オン。
- 電源サイクル。
- ハード・リセット。
- ACPI シャットダウン



The image shows a web interface titled "Power Control on Host Server". It features a "Power Actions" section with a green question mark icon in the top right corner. Below the title, it states "Host is currently on". There are five radio button options: "Power Off", "Power On", "Power Cycle", "Hard Reset" (which is selected with a blue checkmark), and "ACPI Shutdown". A blue button with a power icon and the text "Perform Action" is located at the bottom right of the section.

また、ユーザーは電源操作を頻繁に実行するのを回避するために、電源間隔を設定できます。間隔値の範囲は 0 ~ 60 分です。



The image shows a web interface titled "Power Action Interval" with a green question mark icon in the top right corner. A light blue banner contains the text: "Please enter a value of power control interval (0 ~ 60 Min), 0 means no interval." Below this, there is a section labeled "Power ON Interval" with a text input field containing the value "0". A blue button with a save icon and the text "Save" is located at the bottom right of the section.

第 12 章 保守

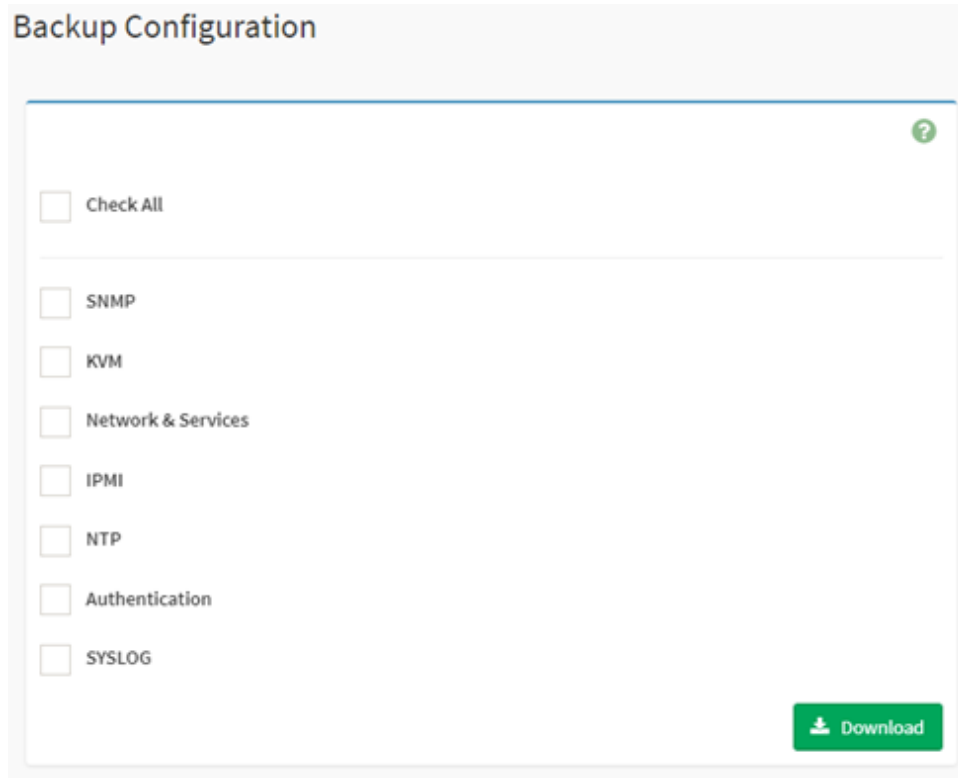
このパートは BMC の保守用です。ユーザーは、このページで BMC システムを保守するために必要な機能を選択できます。



- [45 ページの「12.1 構成のバックアップ」](#)
- [46 ページの「12.2 構成の復元」](#)
- [46 ページの「12.3 ファームウェア・イメージの場所」](#)
- [47 ページの「12.4 ファームウェア情報」](#)
- [49 ページの「12.5 ファームウェア更新」](#)
 - [49 ページの「12.5.1 BMC FW の更新」](#)
 - [53 ページの「12.5.2 BIOS FW の更新」](#)
- [56 ページの「12.6 構成の保持と出荷時のデフォルト値の復元」](#)
- [57 ページの「12.7 サーバー・データの保存」](#)
- [59 ページの「12.8 システム管理者」](#)

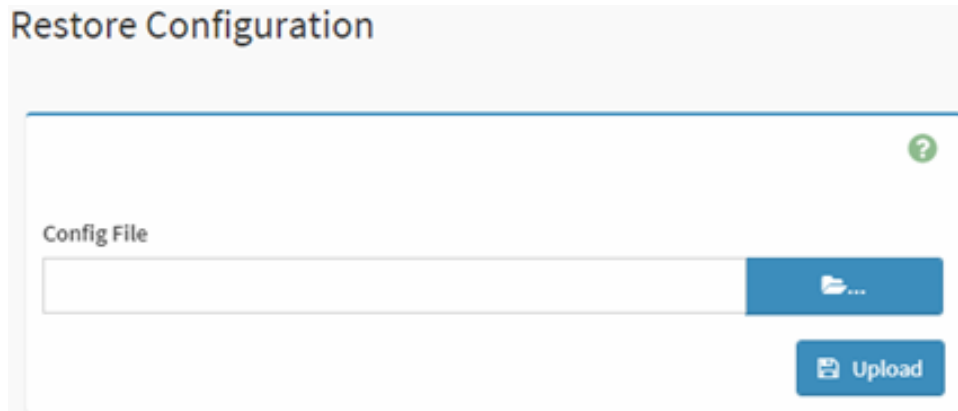
12.1 構成のバックアップ

このページは、BMC バックアップ構成をダウンロードするためのものです。ユーザーは、構成をバックアップし、バックアップ・ファイルをダウンロードするために必要な項目を確認することができます。



12.2 構成の復元

このページは、「構成のバックアップ」ページから保存された構成ファイルを復元するために使用されます。ユーザーは、ダウンロード・バックアップ・ファイルをアップロードして、このファイルの構成を復元することができます。



12.3 ファームウェア・イメージの場所

ユーザーは、ここでFWをアップロードする方法を選択できます。通常、デフォルト値を使用します。

Firmware Image Location

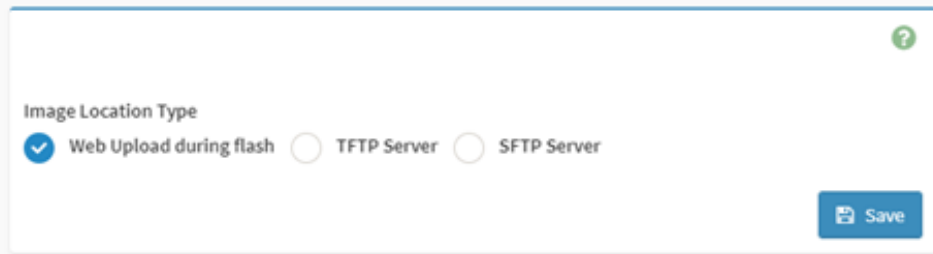


Image Location Type

Web Upload during flash TFTP Server SFTP Server

Save

12.4 ファームウェア情報

このページには、以下のような使用可能なすべてのファームウェア・バージョンがリストされます。

- BMC FW バージョン情報 (ビルドの日付、ビルドの時刻、ファームウェア・バージョンなど)。
- BMC のプライマリーおよびセカンダリー・イメージのバージョン。
- BIOS のプライマリーおよびセカンダリー・イメージのバージョン。
- CPLD FW バージョン: MB CPLD および DC-SCM CPLD を含む。
- バックプレーン FW バージョン: 前面 BP および背面 BP を含む。
- PSU0 プライマリーおよびセカンダリー FW バージョン。
- PSU1 プライマリーおよびセカンダリー FW バージョン。
- ME FW バージョン。

Firmware Information

Active Firmware

Active Image ID

1

Build Date

Sep 15 2023

Build Time

13:29:00 UTC

Primary BMC Firmware version

1.04.230914(BUILD ID:igc602j)

Secondary BMC Version

0.13.221206

BIOS Version

1.04.0

BIOS Backup Image Version

N/A

MB CPLD Version

2.02.01

DC-SCM CPLD Version

0.04.01

FBP1 CPLD Version

06

FBP2 CPLD Version

FBP2 CPLD Version	06
FBP3 CPLD Version	06
RBP CPLD Version	12
PSU0 primary fw version	0.01
PSU0 secondary fw version	0.01
PSU1 primary fw version	0.01
PSU1 secondary fw version	0.01
ME fw version	06.14

12.5 ファームウェア更新

これは、BMC ファームウェア更新インターフェースです。ユーザーは、構成を保持するかどうかを選択し、イメージを選択してから「ファームウェア更新の開始」をクリックして現行の BMC ファームウェアおよび BIOS ファームウェアをアップグレードできます。ステータスを表示する進行状況表示バーが表示されます。

Firmware Update

?

Note:
Following are the Firmware update methods and components supported in this page.

- Dual Firmware update.
- BIOS Firmware update

Select Firmware Image

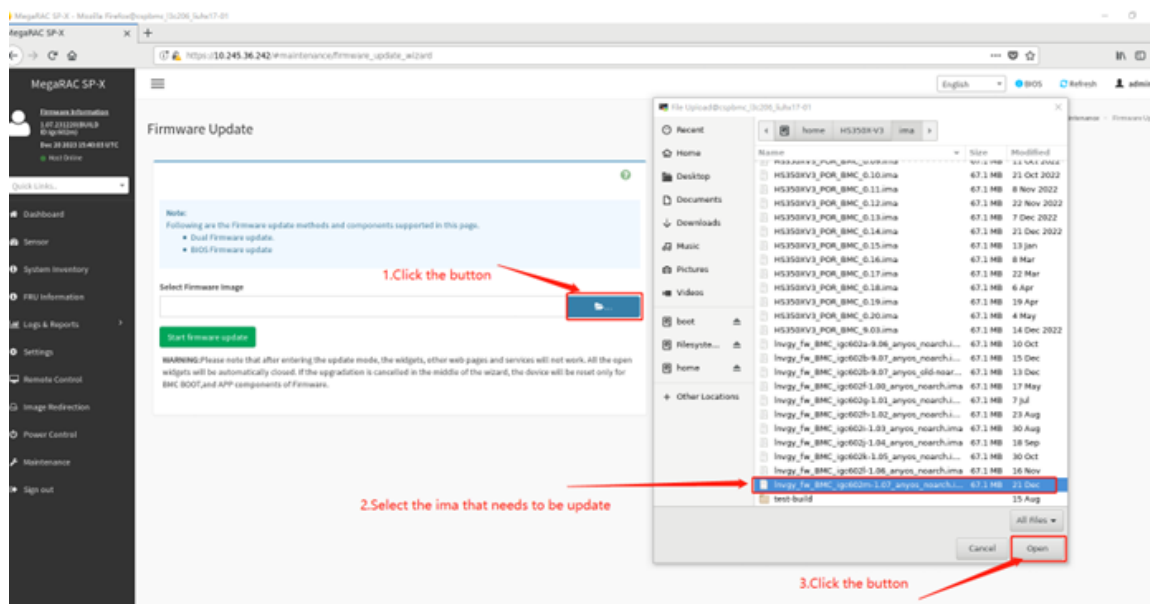
📁...

Start firmware update

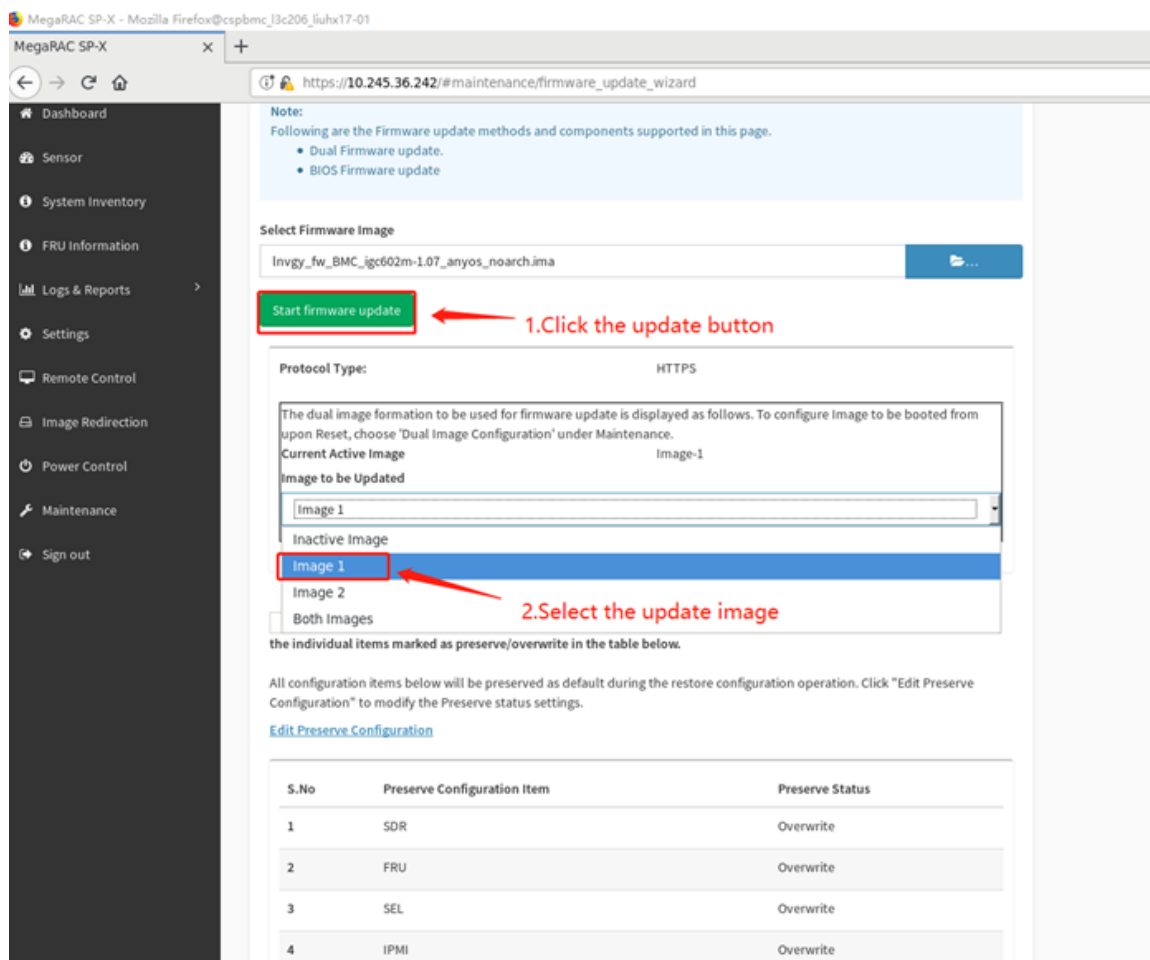
WARNING:Please note that after entering the update mode, the widgets, other web pages and services will not work. All the open widgets will be automatically closed. If the upgradation is cancelled in the middle of the wizard, the device will be reset only for BMC BOOT,and APP components of Firmware.

12.5.1 BMC FW の更新

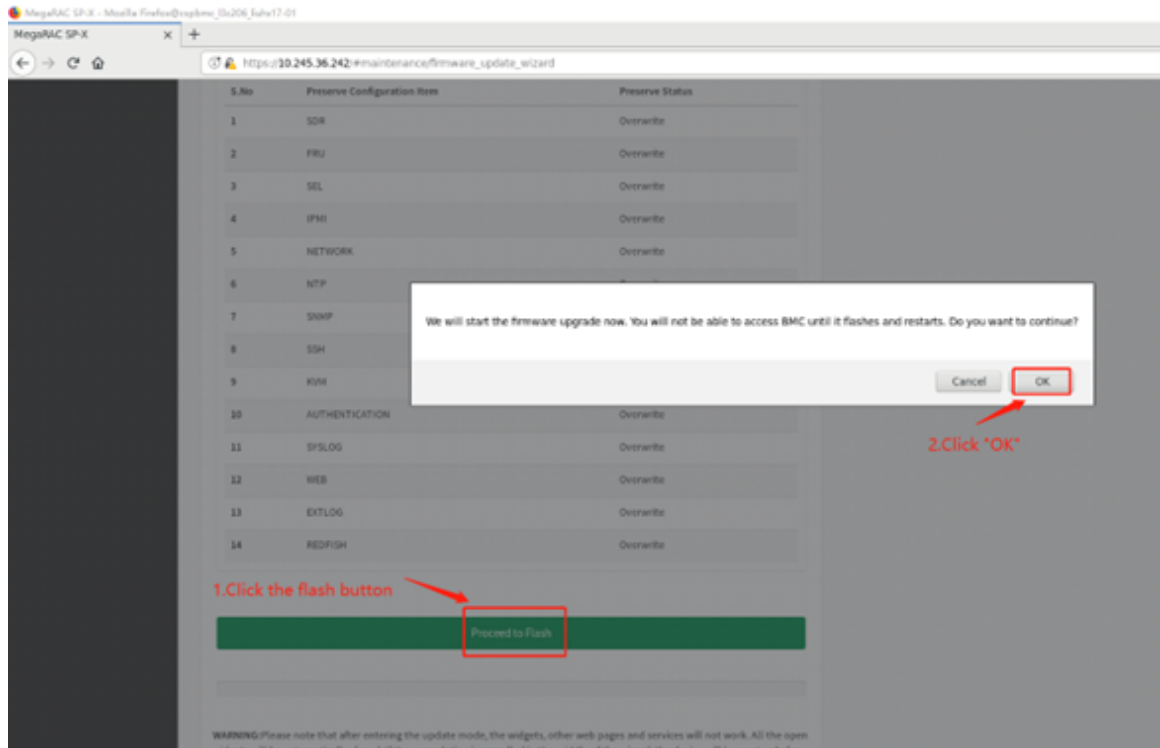
1. 更新する必要がある BMC イメージを選択します。



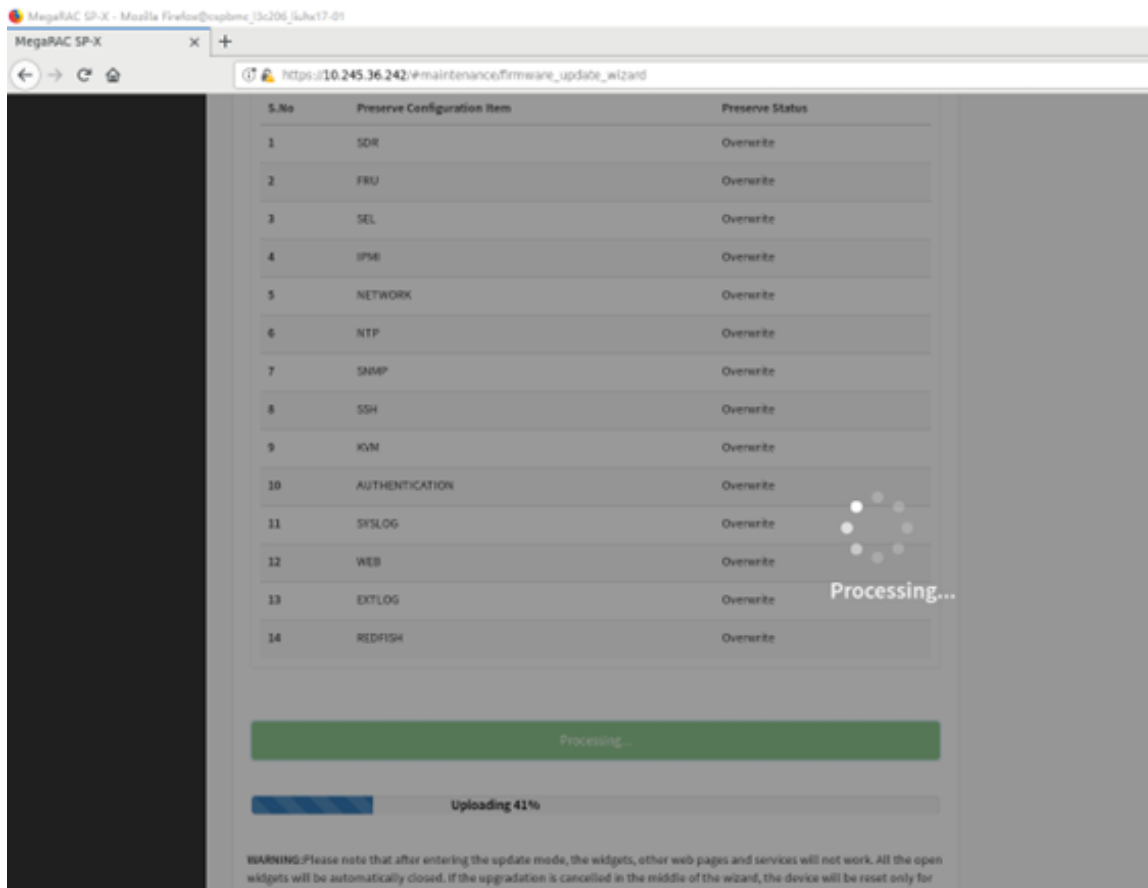
- 更新する必要がある BMC ROM を選択します。ここで、BMC ROM 1 または BMC ROM 2 で個別にアップグレードするか、あるいは両方の BMC ROM を一緒に使用してアップグレードするかを選択できます。



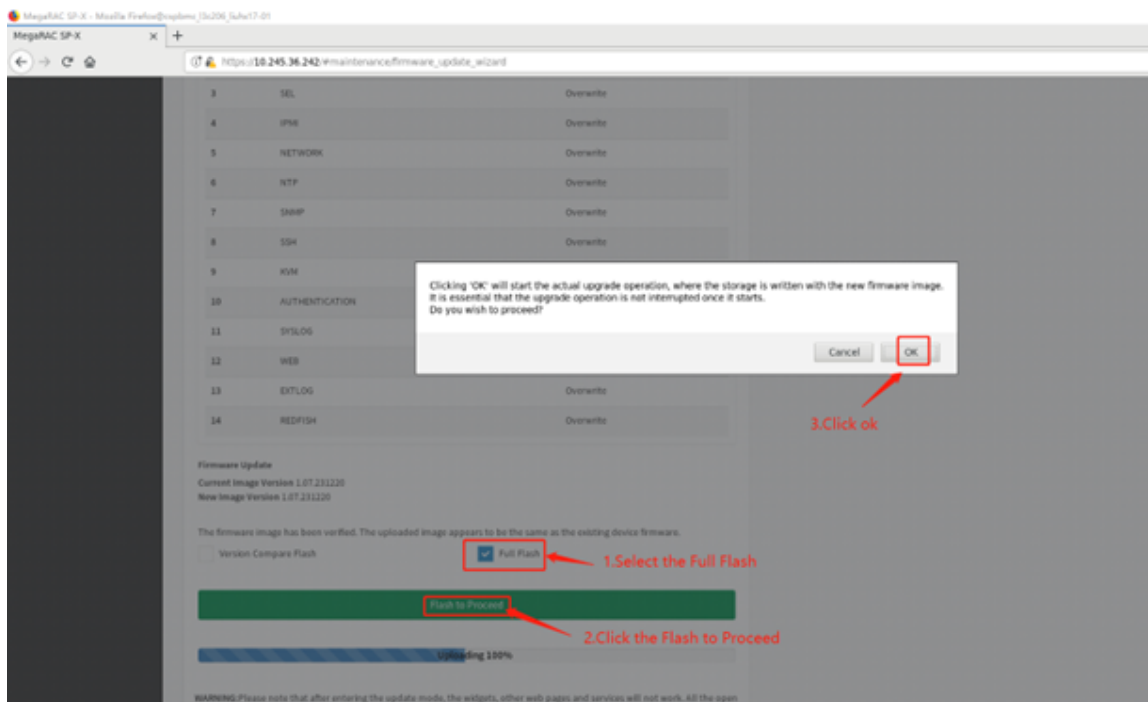
3. 「フラッシュの処理」をクリックして更新を開始します。ここでプロンプトが表示され、続行することを確認します。



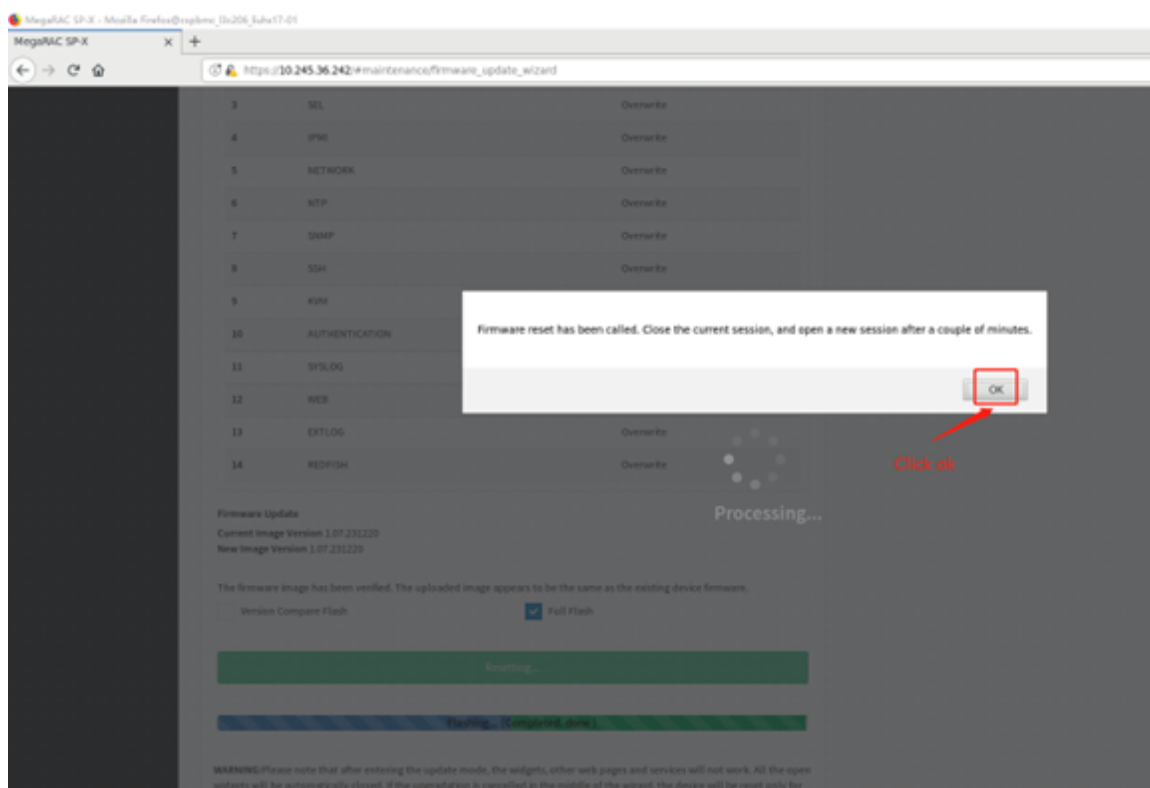
4. その後、イメージ・アップロード・アクションが処理されます。



5. ここで更新フラッシュ選択項目が表示され、「フル・フラッシュ」を選択して、「処理するフラッシュ」をクリックします。プロンプト・メッセージが表示され、確認できます。

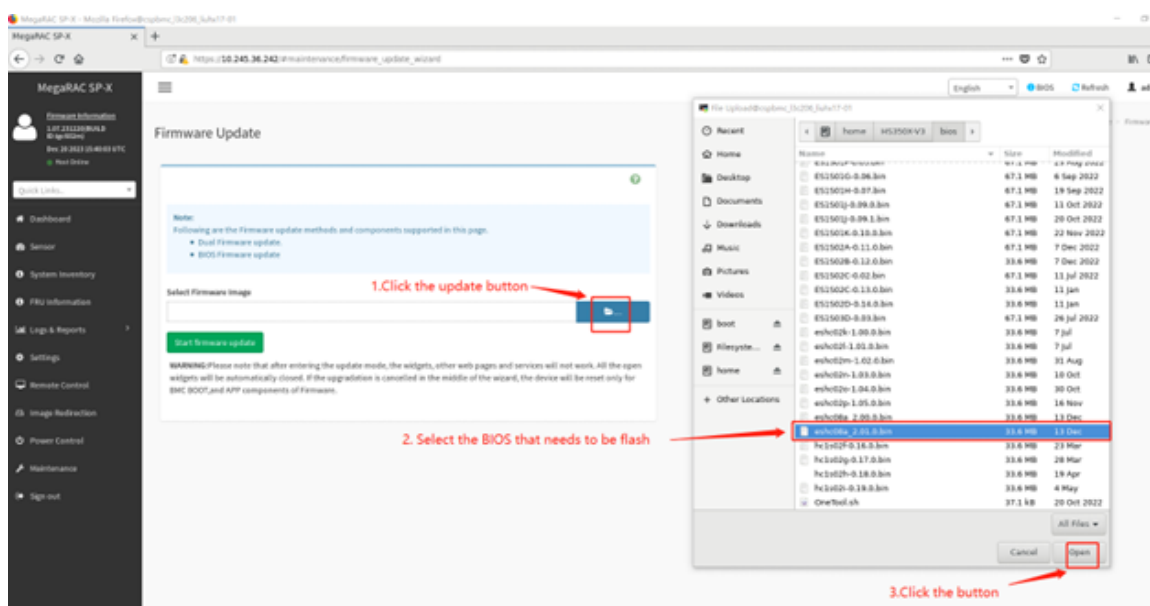


6. 更新フラッシュが完了すると、BMC は自動的に再起動します。

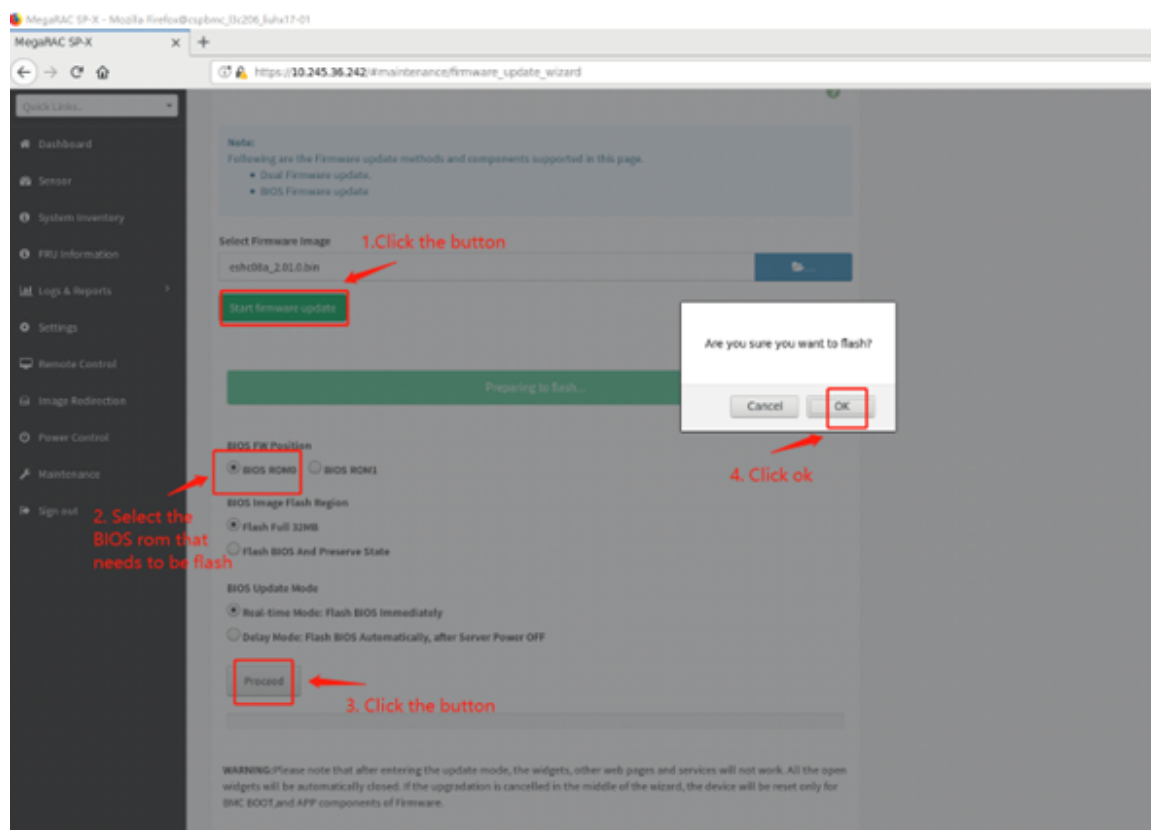


12.5.2 BIOS FW の更新

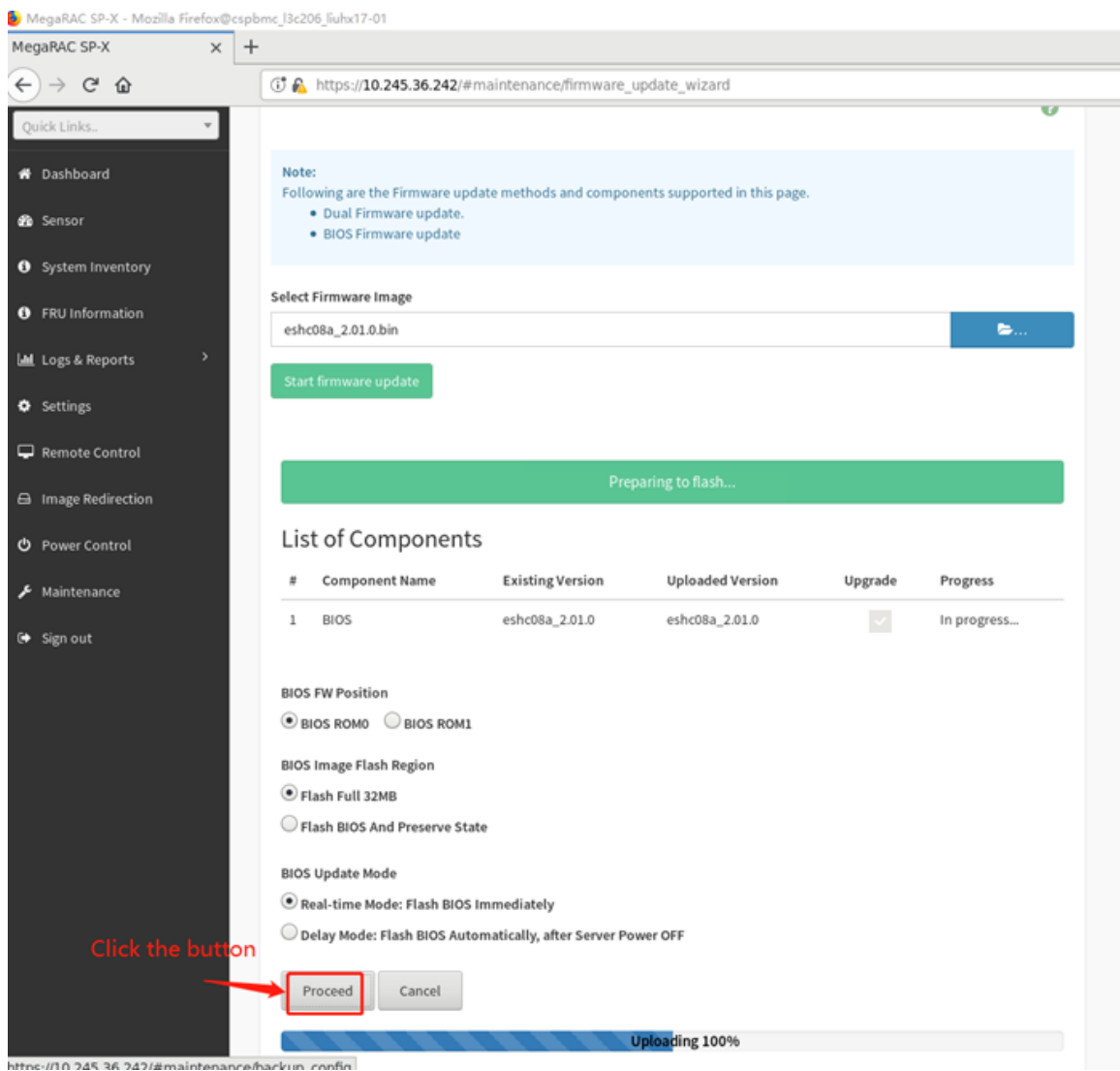
1. 更新する必要がある BIOS バージョンを選択します。



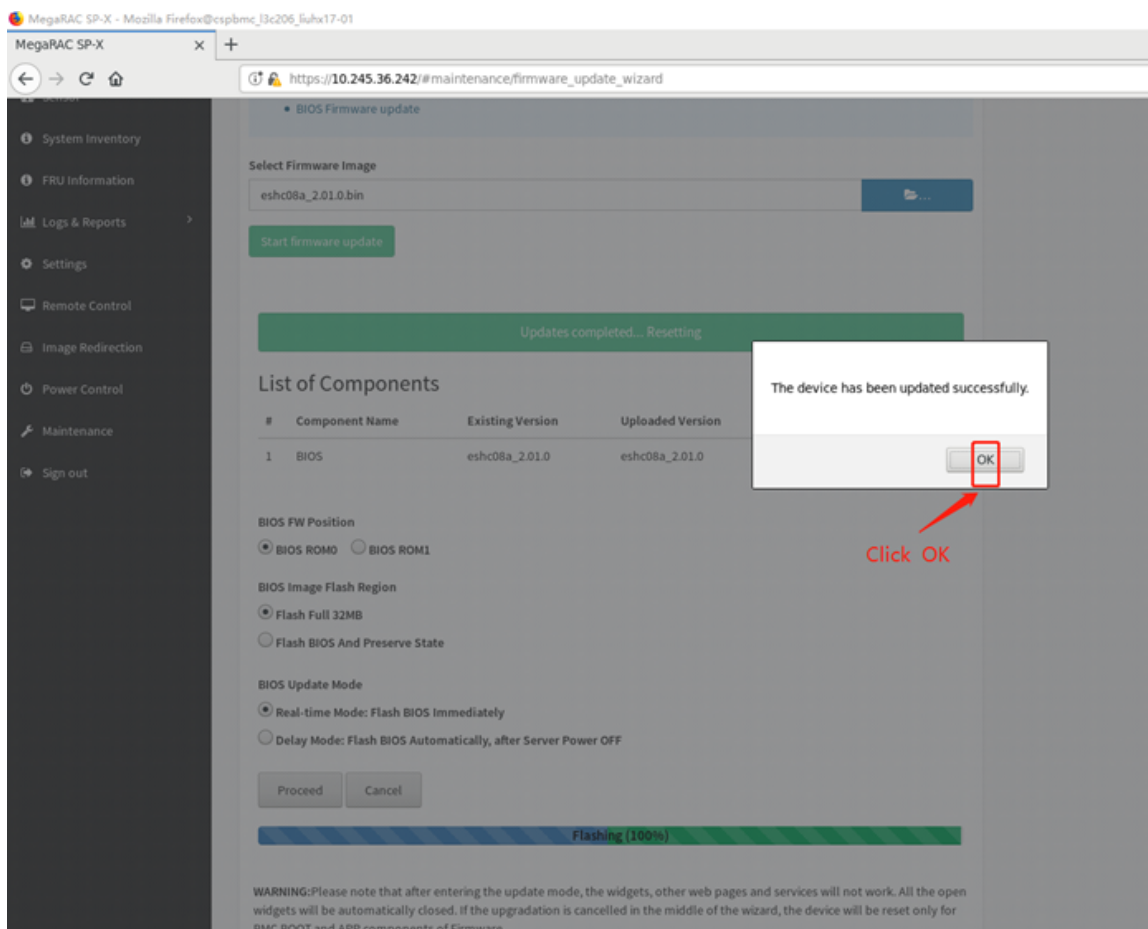
2. 更新する必要がある BIOS ROM を選択します。BIOS ROM はここで個別に更新できます。



3. BIOS 情報をアップロードした後、更新を再度確認し、「続行」をクリックする必要があります。



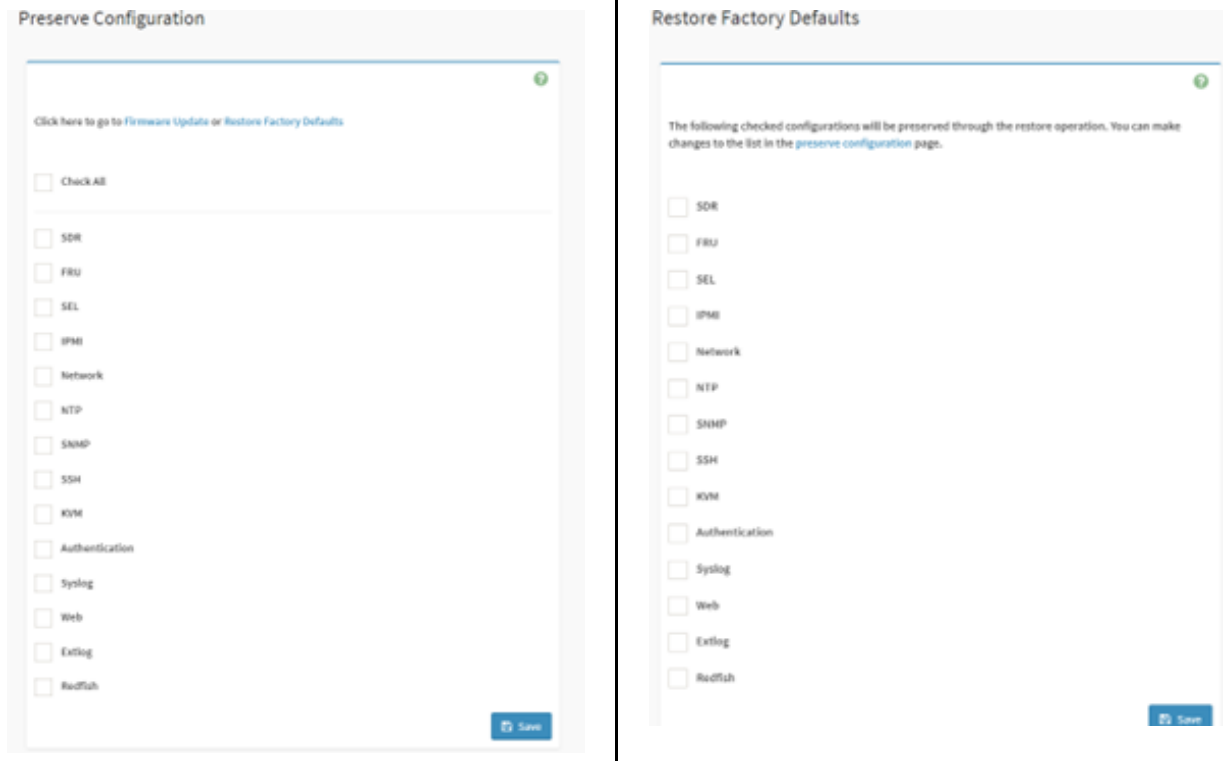
4. FW のアップグレード・アクションが完了した後、OS アクションを再起動した後に BIOS 情報が正しいかどうかを確認する必要があります。



12.6 構成の保持と出荷時のデフォルト値の復元

「構成の保持」ページは、ユーザーが BMC FW をアップグレードするか、デフォルト BMC をロードするときに保持する必要がある構成を確認するために使用されます。チェック・ボックスをオンまたはオフにして、BMC の構成を保持または上書きできます。

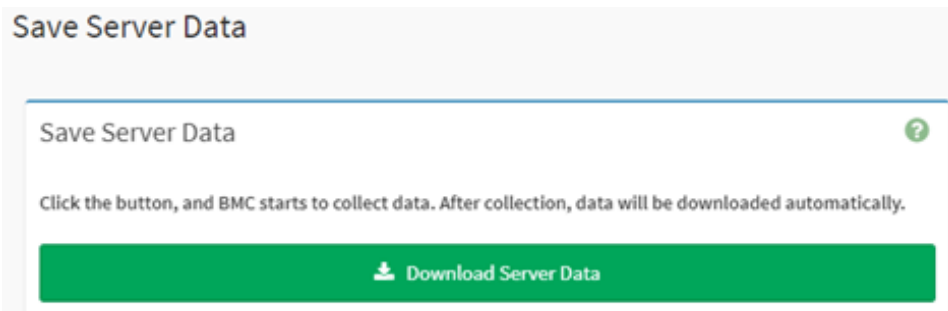
「出荷時のデフォルト値の復元」ページは、既存の構成データを保持するために使用されます。「構成の保持」ページに進み、構成データを選択します。



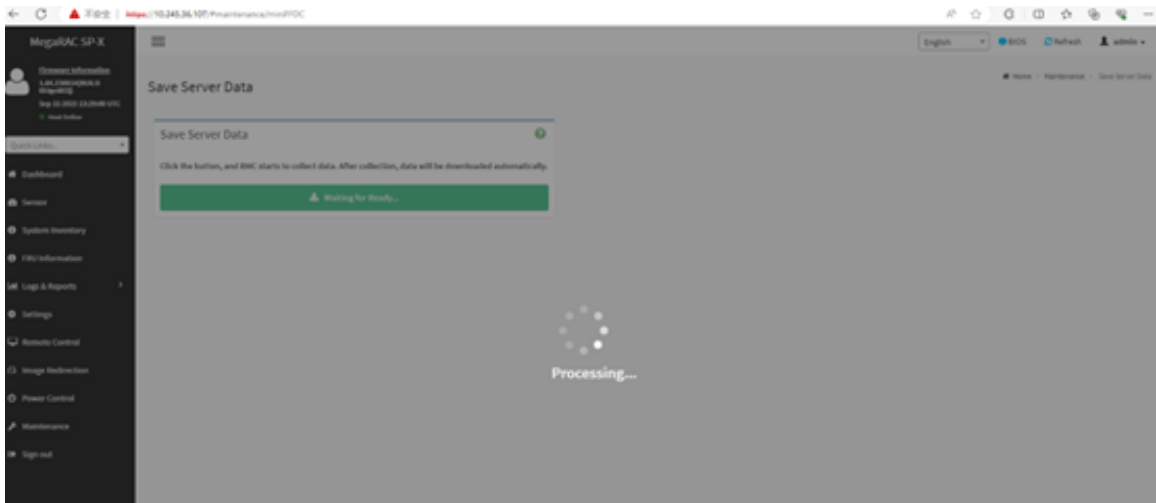
注：「出荷時のデフォルト値の復元」ページで、項目を選択せずに「保存」をクリックすると、BMC はデフォルトをロードし、自動的にリセットします。

12.7 サーバー・データの保存

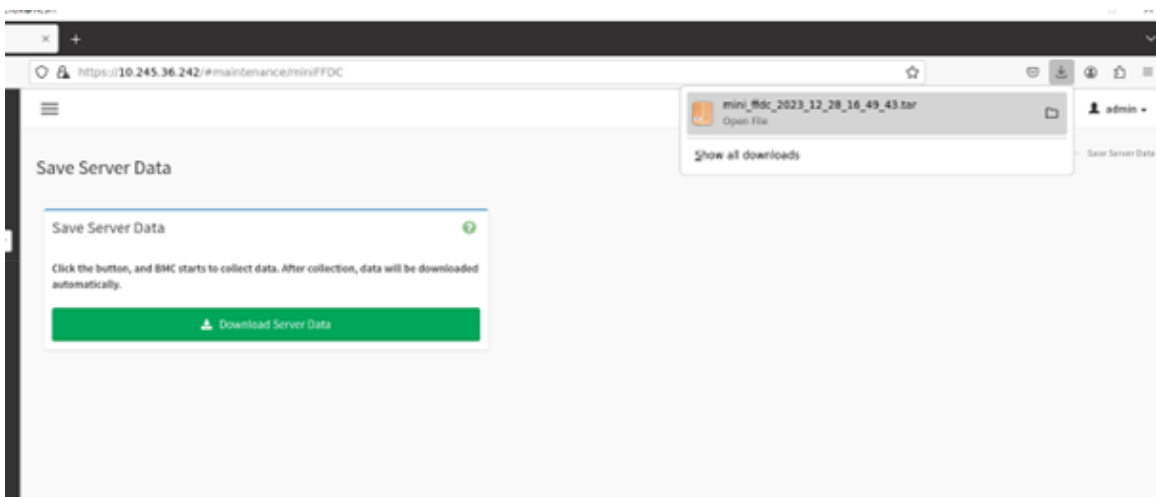
ボタンをクリックすると、BMC がデータの収集を開始します。収集後、データは自動的にダウンロードされます。



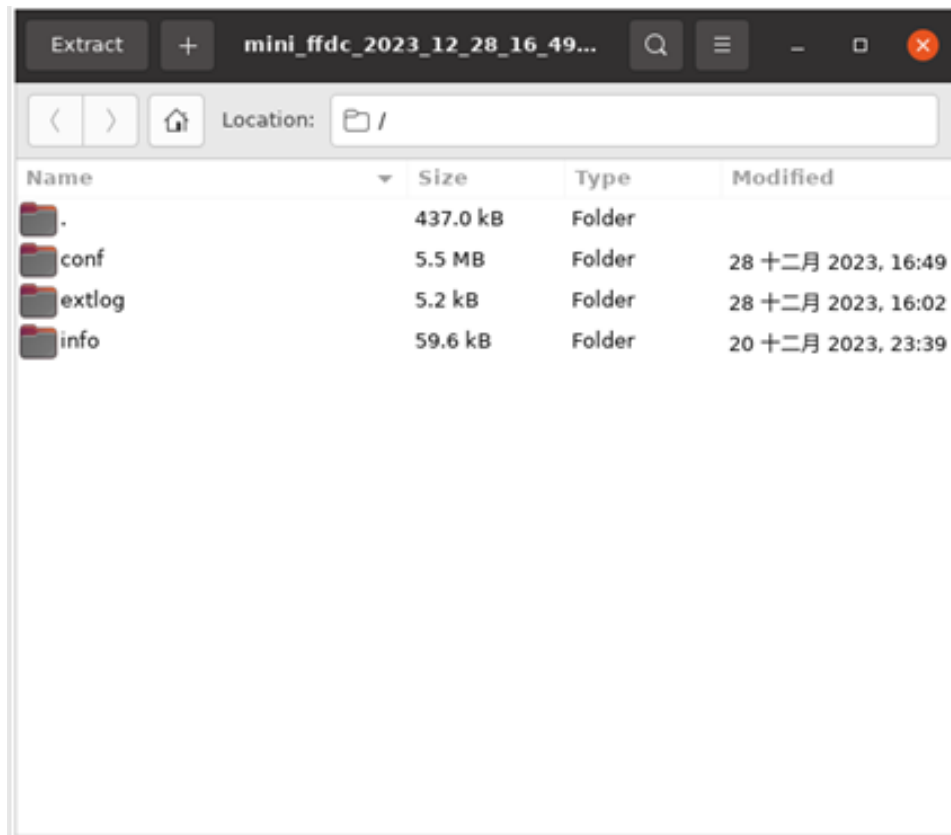
1. 「サーバー・データのダウンロード」ボタンをクリックし、FFDC パッケージが完全にダウンロードされるのを待ちます。



2. パッケージ名を確認します。パッケージ名は `mini_ffdc_[date].tar` です。




3. ダウンロード FFDC ファイルとそのパス構造は、次のとおりです。



12.8 システム管理者

このページは、システム管理者のユーザー名を表示するために使用されます。「ユーザー・アクセスを有効にする」オプションをオンにして、システム管理者のユーザー・アクセスを有効にします。既存のパスワードを変更するには、「パスワードの変更」オプションをオンにします。これにより、パスワード・フィールドが有効になります。

System Administrator




Username
sysadmin

Enable User Access

Change Password

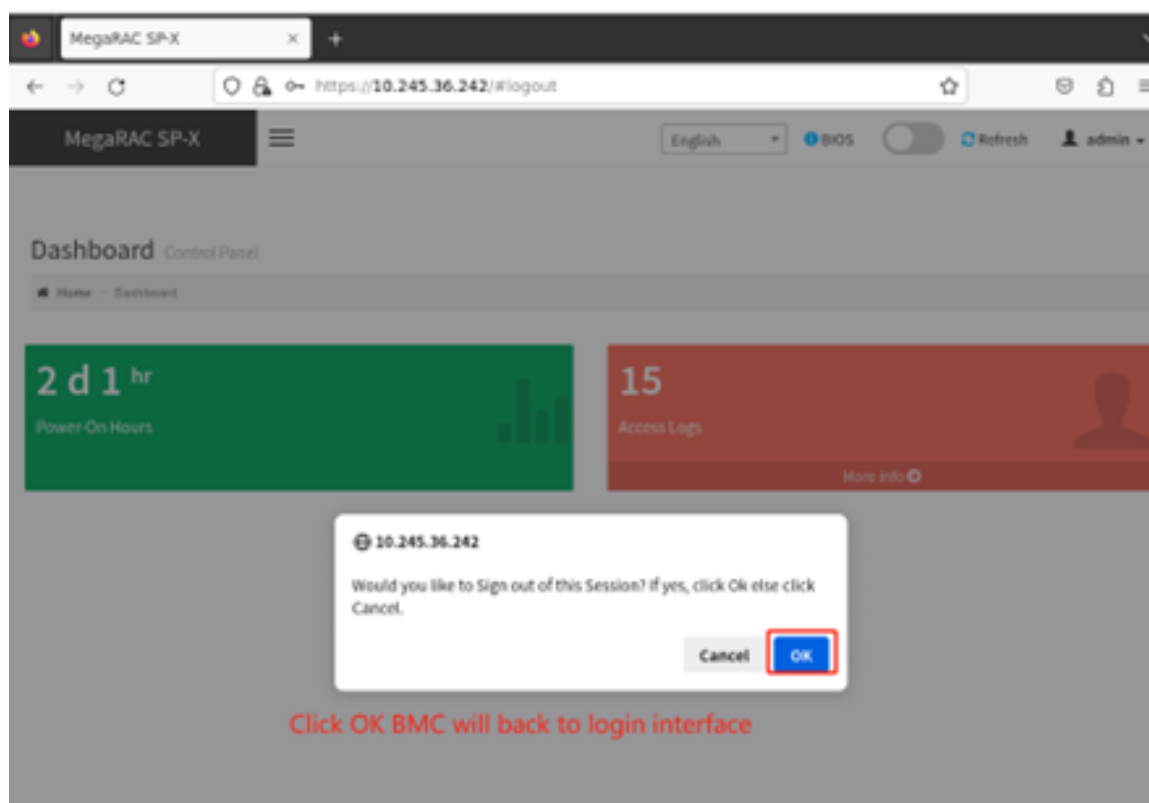
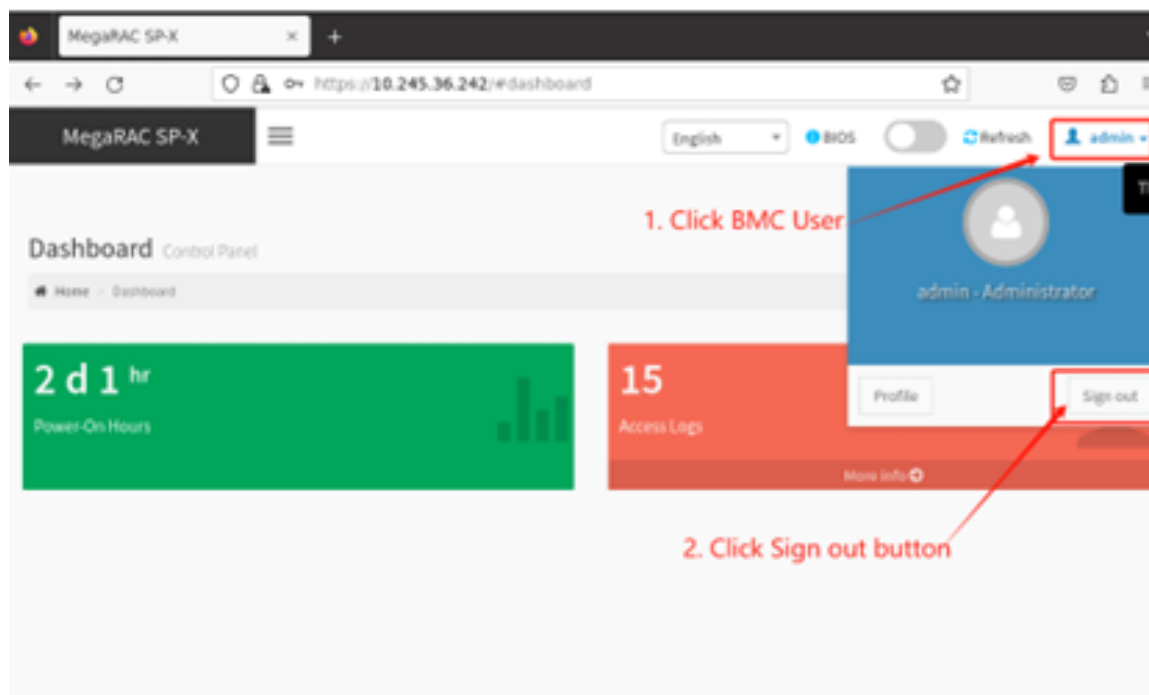
Password

Confirm Password

 Save

第 13 章 サインアウト

この機能は、現在のユーザーをログアウトするために使用されます。



付録 A 注記

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、Lenovo の営業担当員にお尋ねください。

本書で Lenovo 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その Lenovo 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、Lenovo の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、他の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

Lenovo は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、いかなる特許出願においても実施権を許諾することを意味するものではありません。お問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

*Lenovo (United States), Inc.
8001 Development Drive
Morrisville, NC 27560
U.S.A.
Attention: Lenovo Director of Licensing*

LENOVO は、本書を特定物として「現存するままの状態」で提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。Lenovo は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書で説明される製品は、誤動作により人的な傷害または死亡を招く可能性のある移植またはその他の生命維持アプリケーションで使用されることを意図していません。本書に記載される情報が、Lenovo 製品仕様または保証に影響を与える、またはこれらを変更することはありません。本書の内容は、Lenovo またはサード・パーティーの知的所有権のもとで明示または黙示のライセンスまたは損害補償として機能するものではありません。本書に記載されている情報はすべて特定の環境で得られたものであり、例として提示されるものです。他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。

Lenovo は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本書において Lenovo 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この Lenovo 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのもと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

商標

LENOVO および LENOVO ロゴは Lenovo の商標です。

その他すべての商標は、それぞれの所有者の知的財産です。© 2023 Lenovo